

ゆうでんかい 大阪電気通信大学友電会

大阪電気通信大学同窓会組織

YU DENKAI

The Alumni Association of Osaka Electro-Communication University



No.128
2018/3



2017.6.17 16:24



平成29年6月17日(土)に母校・四條畷キャンパスで開かれた「平成29年度通常総会・合同懇親会」
④⑤と⑥1、2、3号館に囲まれた「中庭会場」での光景
⑥3号館のレストランの「屋内会場」での懇親光景



母校・四條畷キャンパス(1号館)



受付の光景

「未来へ飛翔」をテーマに「友電会通常総会・合同懇親会」は、平成29年6月17日(土)午前11時から母校・四條畷キャンパスで開催されました。同時にクラブ同窓会の総会、母校・教職員OB会「緑樹会」の年次報告会も開かれました。当日は「梅雨」の真っ最中にもかかわらず「晴天」に恵まれ、友電会はもとよりクラブ同窓会会員をはじめ、緑樹会の恩師など退職された教職員、母校学園の教職員など約160名が参加、大いに盛り上がりました。



「臨床工学実習室」での見学光景



JIAMS (ジェイムズ)「先端マルチメディア合同研究所」での見学



「平成29年度総会・合同懇親会」 - 四條畷キャンパスで開催

㊦記念写真—緑樹会・母校学園教職員・友電会5期生以上記念写真 ㊦友電会6期生以下、学生



「未来へ飛翔」をテーマに

「友電会総会・合同懇親会」開催

●四條畷キャンパスの「見学会」

四條畷キャンパスの「見学会」は、午前11時10分から約40名が参加して開催されました。参加者は2班に分かれ、「臨床工学実習室」とJIAMS（ジェイムズ）「先端マルチメディア合同研究所」を見学しました。

「臨床工学実習室」は8号館にあり、手術室、ICU（集中治療室）、人工透析室など実際に医療現場で使われている施設が再現されています。また、人工心肺装置などの操作技術を実践的に学べるようになっていきます。さらに、電気メスや超音波診断装置など医療設備の安全管理技術についても学べます。

学生が電気メスを使用して披露するなど、実習室を丁寧に紹介、説明して頂きました。見学者からは「電気メスは何ボルトを使用しているの」といった質問も飛び出していました。

JIAMS（ジェイムズ）「先端マルチメディア合同研究所」は、7号館にあります。プロの制作や先進的な研究の場として活用されている先端的な施設です。現場の最前線で活躍するプロスタッフが管理・運営することで「プロの仕事」を誘致し、「プロの仕事」を生きた教材として学べる創造性と刺激に満ちた空間です。

JIAMSには、最高品質でのリアル映像システム「映像編集スタジオ」、充実したMAレコーディングシステム「音楽編集スタジオ」、クリエイティブな映像表現を追求できる「CGスタジオ」、撮影・録音・編集・放送をこなせるオールインスタジオ「サテライトスタジオ」、アニメーション

の新時代を切り拓く最新テクノロジーの「モーションキャプチャースタジオ」、そして950名を収容できるデジタル文化シアター「多目的ホール」（コナミホール）があります。

ここでも最新の映像・音楽に関する技術などについて説明がありました。

●友電会通常総会

午後1時から2号館107教室で「平成29年度大阪電気通信大学友電会通常総会」が開催されました。

通常総会は竹田治英（F19）評議員（クラブ同窓会会長）を議長に選出し、第1号議案から第6号議案「平成29年度評議員案」について審議し、全6議案が賛成多数で承認されました。

なお、会誌127号15ページから19ページに掲載されている「一般社団法人 大阪電気通信大学友電会定款（案）」については、友電会の大きな転換期に当たるため法人定款はもとより、活動方針などを検討し、来年度の通常総会に提出することになっています。

また、同時刻に2号館110教室で母校教職員のOB会「緑樹会」の「年次報告会」が開催されました。（「友電会総会」の記事参照）

●記念講演会

午後2時から2号館107教室で、母校の総合情報学部長 魚井宏高教授が「総合情報学部と四條畷キャンパスの歩み」をテーマに講演しました。

会場には緑樹会の会員をはじめ母校関係者、クラブ同窓会、友電会の

●総会・合同懇親会当日の「タイムスケジュール」

11:00～ 受付開始

11:10～11:40 クラブ同窓会総会

11:10～12:10

四條畷キャンパス施設見学会

12:10～12:45 昼食会

13:00～13:50 友電会通常総会

13:00～13:50 緑樹会 年次報告会

14:00～14:50 記念講演会

15:00～17:00

緑樹会、クラブ同窓会、友電会の3団体合同懇親会

会員など約120名が耳をかたむけました。

（「総会で記念講演会」の記事を参照）

●緑樹会・クラブ同窓会・友電会の合同懇親会

「平成29年度大阪電気通信大学緑樹会・クラブ同窓会・友電会 合同懇親会」は、午後3時から1号館、2号館、3号館に囲まれた中庭を中心に、中庭から続く3号館1階の生協レストランで開催されました。

合同懇親会には緑樹会はもとより、母校学園関係者、そしてクラブ同窓会、友電会会員など約160名が出席。家族連れの姿も多くみられました。

友電会の福田武（E02）会長は主催者を代表して、出席へのお礼を述べるとともに「本日は晴天に恵まれました。青空の下で杯を交わしながら、学生時代の思い出話しや恩師と語り合っ、大いに楽しんでください」とあいさつ。

宴は続き、午後5時前に大学歌を斉唱して記念写真に納まり、来年度の総会での再会を約し、散会しました。

（「緑樹会・クラブ同窓会・友電会合同懇親会」の記事を参照）

ゆうでんかい

第128号 2018年3月10日

大阪電気通信大学・同窓会組織 友電会会誌

- ・「平成29年度友電会通常総会」開催 ----- 6
- ・「平成29年度友電会通常総会議事録」----- 8
- ・総会時の記念講演会—総合情報学部長の魚井宏高先生 - 10
- ・緑樹会・クラブ同窓会・友電会—「合同懇親会」----- 12
- ・友電会の紹介「役員・支部・組織・評議員・定款」---- 16
- ・「新卒業生・新入学生の皆さんへ」—友電会の活動紹介 18
- ・「ホームカミングデー2017」寝屋川キャンパスで開催 - 22
- ・「第57回大学祭」「なわフェス'17」開かる ----- 24
- ・「母校のトピックス」—「母校、新学科スタート」など 26
- ・「課外活動関係」—「学生団体一覧」----- 28
- ・自由工房の学生が「ロボファイト18」で優勝・準優勝 28
- ・自動車部主催「2017電通大AUTUMNラリー」開かれる -- 29
- ・「女子バスケットボール部」が大活躍 ----- 30
- ・総合情報学部 卒業研究・制作展「なわてん」開催 ---- 32
- ・「教職目指す学生とOB教員との教育懇話会」----- 34
- ・「第40回卒研室対抗ソフトボール大会」開く ----- 36
- ・首都・東京に待望の「友電会東京支部」が誕生 ----- 38
- ・会員が母校・図書館に3冊の書籍を寄贈 ----- 40
- ・友電会主催の2017年度「寝屋川ロボット教室」ほか -- 41
- ・「トピックス」—都倉元学長「秋の叙勲」受章—ほか -- 42

表紙題字「ゆうでんかい」は 故 田崎 秀夫 元学長

ホームページ <http://www.yudenkai.org/>

■会誌への投稿や事務局への連絡等はE-mailかFAX。で
友電会事務局 FAX. 072-824-1197
E-mail : yudenkai@yudenkai.org

2018年3月10日 第128号

発行所／大阪電気通信大学友電会(大阪電気通信大学同窓会組織)

YUDENKAI The Alumni Association of
Osaka Electro-Communication University

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号
18-8 Hatsu-Machi Neyagawa-City Osaka Japan 572-8530
(友電会直通) TEL. 072-824-3111 FAX. 072-824-1197
(大学代表) TEL. 072-824-1131 内線 3266
郵便振替番号 00990-5-49361

発行責任／ 友電会会長 福田 武
編集責任／ 友電会事務局長 柴垣 佳明
編集／ 廣谷 明、澤居比佐夫、段安 義彦、辻 佳彦、吉田 祐三
資料提供／ 学校法人大阪電気通信大学
大阪電気通信大学事務局他
寄贈先／ 大阪電気通信大学関係先をはじめ他大学同窓会
並びに国立国会図書館遂次刊行物部、その他
購読料／ 2年間 1,000円
(卒業後3年間は無料配布、総会通知号は全会員に)
印刷／ ダイコロ株式会社

大学
学章



電子工学・通信工学を中心とする大学の象徴として、原子内電子軌道を図案化したものをバックに、「大学」を白抜き文字で配している。この純白は、清廉・潔白な人材の育成と、祈りと、希いがこめられてつくられた。

会誌購読のお願い

●購読料： 2年間 1,000円

友電会では、会員諸氏相互の“情報・交流・親睦の場”として、会誌「ゆうでんかい」を発刊しています。

なお、卒業後3年間は、無料です。また、法人化入会金を納入されている方は無料です。

会誌発送用の宛名の「記号」について

(封筒の宛名シール)

購読の残年数

(この場合は、「あと1年」です)

友電会会員番号

E01×××-01

卒業学科
(この場合
電子工学科)

卒業期
(この場合
1期生)

番号

■編集後記

●来年・平成30年度の「友電会通常総会」は、平成30年6月23日(土)、母校・寝屋川キャンパスを予定しています。テーマは、来年度総会で友電会の「一般社団法人」を目指しているところから「新たなスタート」にしました。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

●総会では、「記念講演会」を予定しています。「出席者が聞きたい」と思われる内容を検討しています。お楽しみにしてください。

●平成30年度総会の詳細につきましては、5月上旬発行予定の会誌「ゆうでんかい」129号、友電会ホームページをご覧ください。会友お誘いのうえ、ご家族連れでの出席をお待ちしています。学生の皆さんの出席も大歓迎です。もちろん、会費は無料です。

●今号は、「卒業生・新入生」特集号です。このため、友電会活動の紹介、母校に関係ある記事が中心となっています。支部総会など友電会関係の記事は5月上旬発行の会誌に掲載します。



友電会のホームページに「友電会掲示板」コーナーがあります。会員の皆さんからの自由な意見を掲載、同窓の集いの広場になればと思っています。母校発展に寄与する建設的なアイデアや近況報告などをお寄せ下さい。

「同窓の絆」と「母校と連携」を！

大阪電気通信大学
友電会会長

福田 武(E02)



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。
新入学生の皆さん、入学おめでとうございます。
同窓会「友電会」を代表してお祝い申し上げます。

友電会は、昭和40年第1期生卒業時に発足し54回を迎えます。目的は会員相互の親睦を図るとともに、母校と密接に連携しながら、大学の繁栄に協力、支援することです。

会員は、昨年の卒業生で5万人を超え、国内外において、電気通信はもとより医療福祉及び情報関連、デジタル・ゲームなどを中心に技術、経営、官僚及び教育等多種多様な分野で活躍しています。また、支部は大阪支部及び東京支部をはじめ17支部あり、さらに支部の設置を奨励していますが、それぞれ独自の講演や見学等の研修会、地域支援及び学生支援の活動をしながら会員の親睦を図っています。

本部では、毎年6月に「通常総会・懇親会」を開催し、親睦会は母校を退職された方々の同窓会「緑樹会(みどりかい)」と「クラブ同窓会」との3団体合同で行い、会員はもとより恩師の先生、職員の方々も多数参加されます。また、地域社会への貢献活動として学生の支援を得て「ロボット教室」を催し、学内では卒研室対抗ソフトボール大会の開催、クラブ活動の支援、研究・制作の奨励及び各種寄贈など学生に対する支援を推進しています。

キャリア教育としては、OB講師の派遣、OB教職員と将来教職関係を目指す学生との「教育懇話会」、OB企業家間交流の「企業家同友会」による就職支援のための意見交換会等を通じて、各業界の豊富な経験を活用した事業も行っています。

このような各種事業をより円滑に支援するため、半世紀に亘るこの大きな組織を「親睦」だけではなく、法の下での組織として管理、運営する必要があります。そのため、30数年に亘って念願でありました法人化を推進するため、「法人化委員会」を設置し、定款を制定するなど、「一般社団法人」化への準備をしています。今後ますます充実した管理の基に大学の繁栄に寄与し、同窓の絆がより強くなるこ

とを期待しています。

●卒業生の皆さん！

卒業後は、社会の一員として各方面で活躍される事と思いますが、我々同窓は同種業界の中にあって出会いが多くあり、「おお！電通大出身やったんか！」とよく確認し合った事を聞きます。社会の一員として、また同窓の一員として、本部・支部の活動や大学が主催するホームカミングデー(卒業生の集い)に参加し、同窓の絆を深めるとともに、社会の実務教育として、活用していただければと思います。また後輩の育成にも寄与できるよう若いエネルギーが必要ですので、ぜひ本部や支部の事業に参加していただくよう宜しくお願いします。

●新入学生の皆さん！

新入生の皆さんが有意義で、のびのびと勉学に励むことができ、また学生生活の良い思い出が得られますような環境作りを支援しています。

まず、昨年の「卒研室対抗ソフトボール大会」では26チーム、約400名の学生、先生が参加し、大いに盛り上がり、楽しんでいただきました。また「なわてん」(総合情報学部卒業研究展)では「友電会賞」(3件)を設けるとともに、「東京ゲームショー」に出展する「学生を激励する会」を催すなど、4年間の学習の研究・制作を応援しています。

また、安心して学べるように「奨学金制度」や無利子による「短期貸付制度」も設けています。さらに給付奨学金も計画していますので大いに活用してください。

今後とも、新入学生の皆さんが有意義な学生生活が送れるような事業、支援活動を順次展開しますので、ご期待ください。

会員諸氏におかれましては、友電会の事業、活動についてご理解をいただき、ますますのご支援とご協力をお願い致します。



あいさつする
福田武 (E02) 友電
会会長



平成29年度通常総会
の議長・竹田治英
(F19) 友電会評議員
(クラブ同窓会会長)



通常総会の成立条件
について説明する
柴垣佳明 (D33) 友電
会事務局長



第1号議案等を説明・
報告する
川口明良 (F04) 友電会
事業部長



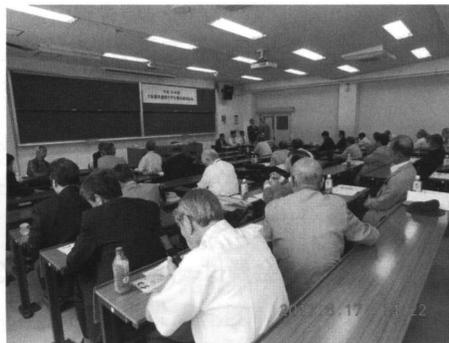
監査報告する
池田清 (I05) 友電会
監事



司会の中田亮生
(D32) 友電会理事
(母校の先生)



平成29年度友電会通常総会会場の光景



平成29年度「友電会通常総会」開催

平成29年度の「大阪電気通信大学友電会通常総会」は平成29年6月17日(土)午後1時から、母校・四條畷キャンパス2号館1階の「2-107教室」で開催されました。総会は友電会会誌「ゆうでんかい」127号の8ページから14ページに掲載の第1号議案から第6号議案まで説明・報告の後、審議した結果、全議案が承認されました。

通常総会に先立って、友電会の福田武 (E02) 会長があいさつに立ち、出席へのお礼を述べるとともに、「会長になってから1年、早いものです」と語り、この1年間を振り返りました。

会誌127号の15ページから19ページに掲載されている「法人化への定款案」(一般社団法人 大阪電気通信大学友電会定款(案))でもわかるように、友電会の法人化について審議し、定款の作成を行ってきました。

しかし、今回の通常総会に議案として提出しなかったことについては、「本当なら提出したかったが、友

電会にとって大きな転換期となるため、基礎となる定款を含め、法人化後の会の活動内容などの方針についてもっと検討していきたい。来年度の通常総会に提出し、実現するように頑張りたい」と語り、また、平成28年度のトピックスは「友電会大阪支部が誕生したこと」をあげています。

●平成29年度通常総会

通常総会は、中田亮生 (D32) 友電会理事(母校の先生)の司会で開会しました。

はじめに柴垣佳明 (D33) 友電会事務局長は「平成29年度友電会通常総会」の成立条件に付いて説明。友電会定款第33条で「会員現在総数の200分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決することは出来ない」とあり、ただし、「当該事項に書面をもって、あらかじめ意志を表示した者は出席者とみなす」とあります。また、電子メールでの返信も所定の条件を満たしていれば「出席者

とみなす」ことが決まっています。

柴垣事務局長は、「会員現在総数は5万206名で、成立条件は251名です」とし、「本日の会場への出席者は81名、委任状は、返信ハガキ218名、FAX57名、電子メール140名で、総計496名です。よって、本日の通常総会は成立しています」と報告しました。

●議長の選出

引き続き、議長の選出に移り、中田司会が候補者を募ったところ応募者がなく、友電会事務局から竹田治英 (F19) 友電会評議員(クラブ同窓会会長)の推薦があり、全会一致で承認されました。

竹田議長は、「ただいまより、平成29年度大阪電気通信大学友電会通常総会を開催します」と力強く宣言しました。

●通常総会審議

審議は第1号議案から第3号議案まで、第4号議案と第5号議案、第



6号議案の3回に分けて説明・報告し、その都度審議し了承を求めることになりました。

第1号議案の「平成28年度事業報告」については、友電会の事業部会長・川口明良(F04)理事が会誌127号の8ページに掲載された同案に基づいて説明報告しました。ここで、川口部会長は「平成28年度は昨年12月、母校のおひぎ元となる大阪に『支部』が誕生したことです。今後は活発な活動を通じて友電会はもとより、母校の発展に期待したい」と述べました。

引き続き、第2号議案の「平成28年度収支決算報告」を特別会計、貸借対照表や財産目録などを含めて、柴垣事務局長が会誌9、10ページに掲載された同議案にもとづいて説明報告。第3号議案の「平成28年度一般会計剰余金処分案」についても説明・報告しました。

池田清(105)友電会監事は、「平成28年度事業報告書、平成28年度収支決算報告書および関係書類を監査した結果、適正に執行されていることを認めます」と報告しました。

議長は、ここで第1号議案から第3号議案について「承認」を求めたところ、大多数で承認されました。

第4号議案の「平成29年度事業計画案」では、川口部会長が会誌の11ページに掲載された内容に基づいて説明・報告、第5号議案の「平成29年度収支予算案」については柴垣事務局長が会誌の12ページに掲載されている同議案について説明・報告しました。

議長が第4号議案と第5号議案について「承認」を求めたところ、大多数で「承認」されました。

第6号議案の「平成29年度評議員変更案」については、福田会長が会誌14ページに掲載の同議案について説明・報告しました。

福田会長は、「新任が10名、死亡退任が1名、37名が退任し、平成29年度の評議員は193名となりました」と報告。退任者が多かったことについて「評議員会の開催通知を出しても返信のない評議員が多く、改めて『継続』か『退任』を求めました。「退任」の返答が多かったとともに、返信がなかった場合は「退任」と

平成29年度友電会通常総会会場の光景

していたため、このような結果になりました」としています。

また、友電会役員については、今年度は改選年度ではなく、全員が留任となり、福田会長は「平成29年度も前年同様に、同じ顔ぶれの役員で頑張っていきます」と述べ、協力を要請しました。

第6号議案も承認され、これで第1号議案から第6号議案まで提出された全ての議案が承認されました。

ここで、質問や提案のコーナーが設けられ、母校の発展の一環として「在学生に対する友電会からの支援としての案を作成してほしい」などの提案がありました。また、来年4月から母校に「建築」と「ゲーム」の2分野の新学科が誕生する予定であり、これらに対する友電会としての協力体制などについての意見がありました。

竹田議長は、「平成29年度大阪電気通信大学友電会通常総会」の閉会を宣言し、総会は閉会しました。

大阪電気通信大学友電会

平成29年度 通常総会議事録

- ・日 時 平成29年6月17日(土) 13:00～14:30
- ・場 所 大阪電気通信大学四條畷キャンパス 2-107
- ・総出席者数 496 名

【議案】

■審議事項

1. 第1号議案 平成28年度事業報告
2. 第2号議案 平成28年度収支決算報告
3. 第3号議案 平成28年度一般会計剰余金処分案
4. 第4号議案 平成29年度事業計画案
5. 第5号議案 平成29年度収支予算案
6. 第6号議案 平成29年度評議員案

- ・出席者数 81名
- ・委任状提出者数

Fax 57名、郵送(持参含) 218名
Web 140名 合計 415名

【成立条件】

柴垣事務局長は、友電会定款第33条で「総会は、会員現在総数の200分の1以上出席…」とあり、平成29年4月1日現在総数50,206名で成立要件251名以上の出席が必要である。現在出席者数は81名、委任状415名、計496名で総会は成立しているとした。

司会の中田理事が議長への立候補を募ったところ立候補者はなく、事務局から依頼した第19期の竹田治英氏(F19)に議長を務めて頂くことで出席者全員に承認された。

【議事録確認者】

定款第36条で、「…議事録は議長が作成し、議長および出席代表2名以上が署名捺印のうえ、これを保存する」とあるので議事録署名者として下記の方に依頼することを決定した。

議 長 竹 田 治 英 (印)
藤 本 明 (印)
工 藤 英 男 (印)

【議事内容】

1. 第1号から3号議案までの審議
 - ・議長は、第1号議案から第3号議案までを一括審議すると述べ、議案の説明を求めた。
 - ・川口事業部会長は、第1号議案の「平成28年度事業報告」について会誌127号8頁に基づき、大阪支部の設立、教育懇話会・企業家同友会・ロボット講習会の実施、友電会ホームページのリニューアル等について説明を行った。
 - ・柴垣事務局長は、第2号議案の「平成28年度収支決算報告」について会誌127号9頁に基づき、会費収入、事業・広報部活動や法人化委員会の開催等による予算執行について説明を行った。続いて、第3号議案の「平成28年度一般会計剰余金処分案」について、会誌127号10頁に基づき説明を行った。

監査報告

友電会監事3名を代表して、池田監事より「平成28年度友電会業務、財産運用、会計処理の監査の結果、事業報告、収支決算報告、貸借対照表、財産目録は法令及び友電会定款に従い、適正に示されていると認める」との報告がなされた。

ここで、議長は第1号から3号議案について会場に質問を求めた。

- ・辻(E04)氏より、「財産目録の監査はどのように行われたのか」との質問があった。池田監事は、「銀行の残高証明並びに各証書を確認した」と説明した。
- ・大角(E01)氏は、「財産目録の定期預金が三井住友銀行に1億9,000万円預けられているが、他の銀行にも預け、リスク分散をした方が良い」との意見があった。柴垣事務局長は、「次年度検討します」と答えた。

ここで、議長は第1号から第3号議案までの承認を求め、賛成多数で承認された。

2. 第4号議案から第6号議案までの審議

- ・議長は、第4号議案から第6号議案までを一括審議すると述べ、議案説明を求めた。

- 川口事業部会長は、第4号議案の「平成29年度事業計画案」について会誌127号11頁に基づき、「今年度も友電会企業家同友会による産学連携・企業間の交流活動と教育懇話会ともども活発化する。また、大学のニーズに合ったキャリア教育の講師派遣体制を構築し、さらには会員相互の親睦と連絡を充実させていきたい」と説明した。
- 柴垣事務局長は、第5号議案の「平成29年度収支予算案」について会誌127号12頁に基づき、事務局体制および広報活動の強化のため、今年度も常勤スタッフ雇用のための人件費を設けること、長年使われなかった「母校発展促進費」を廃止し、代わりに「教育・研究推進費」を増額すること、今後の法人化式典や友電会創立60周年等の記念事業のために積立金を設立すること等の説明を行った。
- 福田会長は、第6号議案の「平成29年度友電会評議員案」について、会誌127号14頁に基づき、「過去4年間評議員会への出欠連絡の方37名を退任とし、新規10名、死亡による退任1名による計193名である」と説明した。
- また、福田会長は「今年度は役員の変更時期ではないので、会誌127号11頁のとおり、役員は昨年と同じである」と説明した。また、「昨年の総会では、特に書面では表さなかったが、口頭で指名した顧問は皆さんに了解頂いているので、ここに書かれている8名の顧問についてもよろしくお願ひしたい」と述べられた。

ここで、議長は第4号議案から第6号議案について会場に質問を求めた。主に、以下の質疑が行われた。

- 観野(E04)氏は、「今期の理事会で学生への支援規定を作り、その規定に基づき永続的な学生支援をお願いしたい」と意見が述べられた。
- これに対して、福田会長は「現在、学生支援として、貸与奨学金を行っているが、今後は給付型奨学金についても検討したい」と述べられた。また、「最近では女子バスケットボール部が府民大会で優勝する等しているので、このあたりの支援体制の規定を整備していきたい」と答えた。
- また観野(E04)氏より、「卒業生の連絡先を大学と協力して把握する必要がある」との意見が出され、福田会長は「大学では卒業時に住所変更も含めて連絡先を確認しているため、そのようなデータも大学側と共有したい」と答えた。
- これに関連し、辻(E04)氏は「収支予算に挙げている名簿作成費(台帳)はどのような作業がされているの



平成29年度友電会通常総会の光景

か」質問があった。

- 柴垣事務局長は、「会員名簿は外部業者が台帳管理しており、総会出欠票等により住所変更の連絡があれば会員情報の追加・更新作業や、支部地域の会員名簿作成等もしてもらっている」と答えた。
- また辻(E04)氏より、学史編纂調査費の具体的な内容について質問があった。
- 柴垣事務局長は、「総会やホームカミングデーでの記録撮影、および昨年度であれば大阪支部設立総会、九州支部による地震関係のイベントの取材費に使用された」と答えた。
- 辻(E04)氏より、「学史というのは大学の歴史であり、大学がやるべき事業であり、それを友電会が協力する体制ではないのですか」との発言があり、柴垣事務局長は、「将来はそうにさせて頂きたい」と答えた。

ここで、議長は第4号から第6号議案までの承認を求め、賛成多数で承認された。

続いて、報告事項の『法人化への定款案』について、福田会長は「昨年度は、志村法人化委員長のもと定款案作成が行われ、評議員会等で審議され、皆様のご協力で様々な意見が出てきました。この1年で結論が出なかったため、継続審議とさせて頂いています。会誌127号15頁に法人化定款案の要旨、それ以降に定款案を掲載していますので、皆様におかれましても十分に内容を見て頂き、何か意見等があれば事務局までご連絡頂きたい。そして、一年後には皆様の満足のいく定款にし、法人化の方向で進めていきたいので、ご支援ご協力をお願いしたい」と述べた。

- 最後に、議長はすべての議案が終了し、平成29年度通常総会を閉会すると宣言した(14:30)。



①魚井先生の略歴を紹介
②講演する総合情報学部長の魚井宏高先生

— 総会時の記念講演会 —

母校・総合情報学部長の魚井宏高先生

「総合情報学部と四條畷キャンパスの歩み」

恒例となった通常総会・合同懇親会時の記念講演会は、平成29年6月17日午後2時から母校・四條畷キャンパス2号館107教室で開催されました。母校・総合情報学部長の魚井宏高先生が「総合情報学部と四條畷キャンパスの歩み」のテーマで講演され、母校教職員のOB会「緑樹会」会員や母校教職員、クラブ同窓会・友電会会員など約120名が耳を傾けました。

講演会は、廣谷明(F12)友電会副会長の魚井先生の紹介からスタートしました。

魚井先生は、1962年大阪生まれ。大阪大学基礎工学部助手を経て、1988年に母校・情報工学部情報工学科の助教授として着任。2003年に総合情報学部デジタルゲーム学科の教授に就任。2004年に「先端マルチメディア合同研究所(JIAMS)」の副所長に。2006年に大学院総合情報学研究科長、2007年に同総合情報学部長、2010年に「国際交流センター」センター長、2015年に学校法人大阪

電気通信大学評議員。2015年から母校・総合情報学部長を務められている。

●「四條畷キャンパス」—

1987年に開設

「四條畷キャンパスは、標高が比較的高いところに位置し、これまでに積雪で登校できず、休講になったことが2回ほどありました」と、まずは四條畷キャンパスの立地について説明がありました。

「四條畷キャンパス」は、1987年に大学創立25周年、短大創立30周年記念事業の一環として開設されました。

最初は、総合科目と基礎専門科目教育の場として、全学の1年生が通っていました。その後、徐々に学科教育の場となり、1995年には、「情報工学科」の開設とともに、キャンパスごとの学部運営に移行。

2000年には、「情報工学部」が「総合情報学部」に組織を変更。「メディア情報文化学科」が四條畷初の学科

として開設されました。2003年には、デジタルゲーム学科が設けられました。

JIAMS(先端マルチメディア合同研究所)が2000年に設けられ、同研究所による様々な制作活動とイベントを支援しています。

2001年に「コナミホール」が建設され、同年に「医療福祉工学科」が開設されました。

2004年に「なわてん」(総合情報学部卒業研究・制作展)がスタートし、2005年に「メディアコンピュータシステム学科」、2006年に「デジタルアート・アニメーション学科」、同年に「理学療法学科」、2008年に「健康スポーツ科学科」がそれぞれ開設されました。

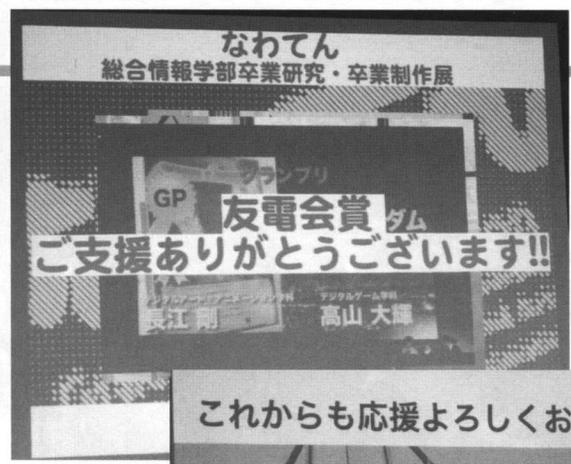
●「JIAMS」

(先端マルチメディア合同研究所) 四條畷キャンパスの7号館1階に設置されているのが、先端マルチメディア合同研究所「JIAMS」。

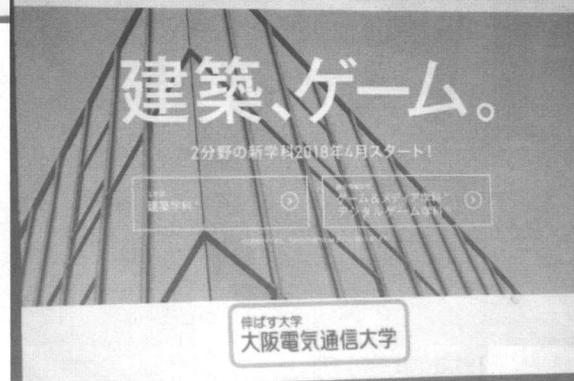
「JIAMS」の各施設は、学内の利用



講演に耳を傾ける出席者



これからも応援よろしくお願いします



だけでなく、外部のプロダクションや企業、研究所などの「業務利用」として「時間貸し」をしています。

それらの利用に関して、学生スタッフ(学内公募)が「JIAMSプロスタッフ」とともにサポート業務を行い、「プロの現場」で働くことを体験できるようになっています。

また、より多くの現場を経験したものが、より高いレベルのライセンス(利用許可書)を得ることができ、自分の作品制作の場として「JIAMS」を利用できるようになります。

各施設のうち、「モーションキャプチャスタジオ」は、関西で最大級の撮影エリアで、カメラ12台が設置され、プロによる品質管理を可能としています。

●「総合情報学部」の特色

「総合情報学部」には、「デジタルゲーム学科」(来年4月に再編)、「ゲーム&メディア学科」(来年4月開設)、「情報学科」の3学科になります。

「デジタルゲーム学科」は、2003年に日本初の学科として誕生。ゲーム

を作る人を育てることに注力した学科。プログラミングの能力だけでなく、デザインや企画立案を含めて、トータルでの「ゲーム業界人の育成」を目的としています。

「ゲーム&メディア学科」は、「ゲームを伝え広げる人」を育てる新しい学科。ゲームと関連の深い業界(アニメ、出版、実写、放送など)に携わる「プロフェッショナルの育成」に力を注ぎます。

「情報学科」は、プログラミングの力で、よりよい社会の構築を目指す人を育てることが目的です。「情報科学」を使って、様々な領域における「情報技術」の利用を促進する「技術者」を育成していきます。

●「電ch! プロジェクト」

学生を中心としたスタッフがプロと共同制作する「プロジェクト」。

主な作品として2006年制作の「恋するユーレイ」(サンテレビ他、15分×13回)、2010～12年制作の「おかつちゃん旅に出る」(Web+劇場版)など7作品のほか、大学研究施設紹介などがあります。

④「なわてん」一昨年度から後援。

「友電会賞」として3件に贈呈。

⑤母校ホームページの「トップページ」

また、「自由工房」では「OECU杯 ヒト型レスキューロボットコンテスト」に出場するなどが紹介されました。なお、「四條畷キャンパス」の卒業生数は、今年度末で6000名を数えます。

●最後に

スクリーンには、総合情報学部の卒業研究・制作展「なわてん」を紹介する画面が映し出され、そこには「友電会賞 ご支援ありがとうございます」の文字が。友電会では昨年度から「なわてん」を後援、優秀作品に「友電会賞」3件を贈呈しました。

画面には、母校のホームページの「トップページ」が映され、「建築、ゲームの2分野の新学科が2018年4月スタート」のタイトルがあり、魚井先生は「応援、よろしく申し上げます」との言葉で講演を終了しました。

そこには、「建築学科」と「ゲーム&メディア学科」を新設、「デジタルゲーム学科」は再編されます。



【表紙に関連写真】

懇親会の光景(屋外会場)

平成29年度大阪電気通信大学 緑樹会・クラブ同窓会・友電会

「合同懇親会」

「未来へ飛翔」をメインテーマとした平成29年度の「大阪電気通信大学 緑樹会・クラブ同窓会・友電会 合同懇親会」が平成29年6月17日午後3時から、母校・四條畷キャンパス1号館、2号館、3号館に囲まれた中庭を中心に、中庭から続く3号館1階の生協レストランで開催されました。母校教職員OB会「緑樹会」会員や母校学園の教職員、クラブ同窓会・友電会会員など約160名が出

席して親睦を深めるなど、盛大に開催されました。

●オープニング

「合同懇親会」は、中田亮生(D32)友電会理事(母校の先生)の司会で開会しました。

「ただいまより、平成29年度大阪電気通信大学 緑樹会・クラブ同窓会・友電会による合同懇親会を開催します」—川口明良(F04)友電会理



司会の中田亮生(D32)友電会理事(母校の先生)

「合同懇親会」の「開会」を力強く宣言する川口明良(F04)友電会理事・事業部会長

事・事業部会長が力強く「開会宣言」しました。

続いて、「亡くなられた母校関係者へ、感謝の意を込めて黙とうを捧げます」との司会の発声に、出席者全員が黙とうしました。

主催者の緑樹会・藤崎敏久(E01)会長、クラブ同窓会・竹田治英(F19)会長、友電会・福田武(E02)会長がステージに立ち、紹介されました。

代表して友電会の福田会長は、出席へのお礼を述べるとともに、「本日は梅雨期間中にもかかわらず、快





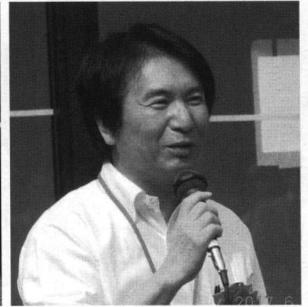
「乾杯の音頭」をする石桁正士名誉教授



主催者を代表してあいさつする福田武(E02)友電会会長



来賓としてあいさつする成瀬淳母校理事長



大石利光学長に代わり、来賓としてあいさつする森幸治副学長



懇親会の光景(屋内会場)



主催者。左から友電会の福田会長、クラブ同窓会の竹田治英(F09)会長、緑樹会の藤崎紘久(E01)会長

晴に恵まれました。大変、素晴らしいことです。この青空の下、四條畷キャンパスで恩師を囲み、旧友と杯を交わし、思い出話、母校そして友電会の発展など話されながら親睦を深めていただきたい」とあいさつしました。

来賓あいさつで、成瀬淳・大阪電気通信大学理事長は「大学では新5カ年計画を進めています。その一環として来年4月に建築とゲームの2分野の学科を新設します。建築学科とゲーム&メディア学科の2学科をスタートさせ、デジタルゲーム学科を再編します。皆様のご支援をお願いします」と語られました。

続いて大石利光学長に代わり、森幸治副学長は「学生時代は、クラブ活動を盛んにやり、楽しい時を過ごしました。『楽しい』ことが第一です。このため、学生にはクラブ活動

を勧めています。その成果が上がっています。『大阪電気通信大学を楽しくする』ために、その雰囲気づくりをしています」と述べました。

「乾杯の音頭」は石桁正士名誉教授。「大阪電気通信大学そして緑樹会、クラブ同窓会、友電会の発展を願って乾杯」の発声で、合同懇親会のパーティーに移りました。

●合同懇親会

1号館、2号館、3号館に囲まれた中庭と、それに続く3号館1階の生協レストランでのパーティーは、杯を交わしながら恩師と学生時代の思い出話や、旧友同志での学生当時の話題で盛り上がりました。また、大学理事長や副学長と「母校の発展」について語り合うなどの光景も見られ、大いに盛り上がりました。

懇親会も盛り上がる中で、2つの話

題がありました。

緑樹会の藤崎会長は、今年春に「叙勲」を受章された矢部寛先生を紹介しました。矢部先生は平成13年4月から平成20年3月までの7年間、母校の工学部機械工学科を中心に教鞭をとられました。在職中は平成17年に図書館長に就任、同年に機械工学科の主任を務めるなどしました。現在70歳です。

矢部先生は「受章したのは、先生



母校・四條畷キャンパス



懇親会の光景(屋内会場)



中締めのあいさつする
竹田クラブ同窓会会長

として恵まれていたことです。そして、皆様のご支援によるものです」と感謝の意を示し、友電会の福田会長から花束の贈呈がありました。

続いて岡本清孝(H11)友電会副会長が表彰されたことが報告されました。平成29年2月27日(月)に、母校・寝屋川キャンパスJ号館6階の小ホールで開催された「クラブリーダー」を集めた、母校で初めての「2016年度リーダーズサミット」の表彰式で、課外活動指導者に対する「功労賞」として母校の伊與田功学生部長から表彰されました。

岡本副会長は柔道部のOBで、現在も指導しており、また一昨年までクラブ同窓会の会長を務め、クラブ活動の活性化に大きく貢献してきました。

岡本副会長は、竹田クラブ同窓会会長と柔道部から花束が贈呈されました。花束を手に岡本副会長は、「これからも母校のクラブ活動の活性化

に努力していきます」と抱負を語りました。

続いて、姉妹校の大阪電気通信大学高等学校の田村博司校長は、「本校には普通科と電子工学科とがあり、それぞれの科にコースがあります。生徒の目的に合わせた教育課程を編成しています。それらの成果は卒業生に着実に表れています」と高校の現状を報告しました。

高等学校同窓会の北田由博会長は、「同窓会活動化を図るため、高校と協力しながら進めています。同じ学園の同じ同窓会として、今後ともよろしく願いいたします」と語りました。

南茂夫名誉教授は、「まだまだ頑張っています。今後も、事あるごとに来ますので、よろしく願いいたします」と語り、母校・大学後援会の河本智子会長は「同窓生の皆さん



あいさつする大阪電気
通信大学高等学校の
田村博司校長



あいさつする大阪電気
通信大学高等学校
同窓会の北田由博会長



あいさつする
南茂夫名誉教授



あいさつする母校・大
学後援会会長の河本智
子会長

の企業で、大阪電気通信大学の学生を1人でも多く採用してください」と協力を要請しました。

「浪速の東淀川に 茂れる若きわれら葦.....」会場では、母校の「大学歌」の斉唱があり、快晴の四條畷キャンパスの空に響き渡りました。

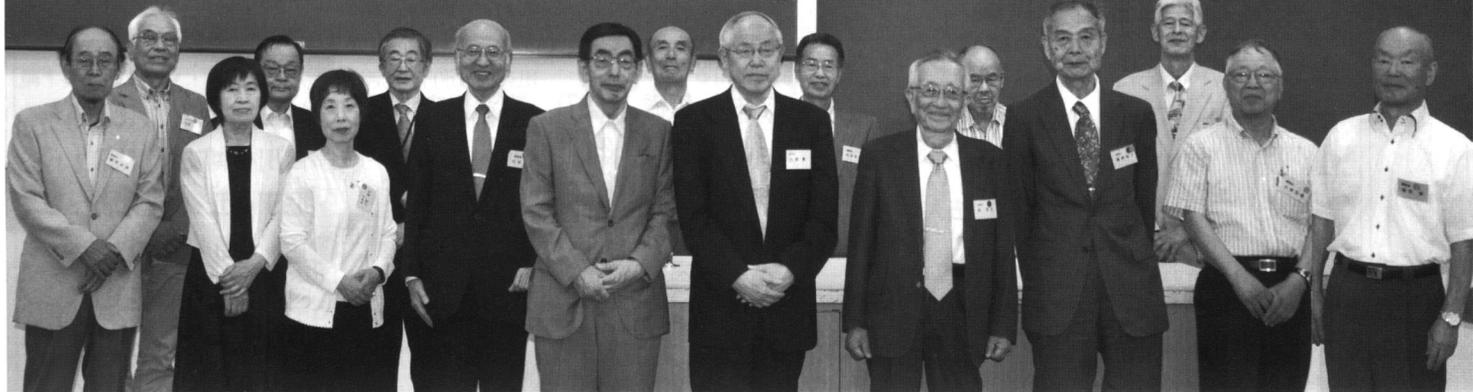
竹田クラブ同窓会会長は、「来年も、ぜひとも総会でお会いしたい」と再会を約し、中締めとしました。

緑樹会会員、現教職員とクラブ同窓会・友電会の1期生から5期生、そして6期生から以降、学生までの2回に分けて記念撮影して、次年度での再会を胸に散会しました。



2017.6.17 17:40

緑樹会年次報告会



緑樹会年次報告会の集合写真

母校教職員OB会「緑樹会」 平成29年度 緑樹会 「年次報告会」の報告

母校・教職員OB会「緑樹会」の藤崎紘久(E01)会長から、平成29年6月17日に母校・四條畷キャンパスで開催した「緑樹会年次報告会」の報告がありました。当日は18名のOBが参加し、議事を全会一致で承認されるとともに、春の叙勲で瑞宝中綬章を受けられた矢部寛名誉教授をお祝いしました。また、友電会、クラブOB会と合同での懇親会では、大いに楽しみました。

●藤崎会長からの投稿です。

「平成29年度緑樹会年次報告会」は、平成29年6月17日に母校・四條畷キャンパスで開催いたしました。当日は四條畷キャンパスの見学会があり、この後に報告会を開催い



藤崎紘久(E01)
緑樹会会長



(左から)藤崎緑樹会会長、春の叙勲で瑞宝中綬章を受けられた矢部寛名誉教授、福田武(E02)友電会会長

たしました。

会の冒頭で春の叙勲で瑞宝中綬章を受けられた矢部寛名誉教授にお祝いの品を贈呈いたしました。

この後、会の活動報告、会計報告、役員選任等の議事が全会一致で承認されました。なお当日の出席者は18名でした。

この後魚井教授の講演を拝聴後、友電会、クラブ同窓会、緑樹会合同

懇親会で卒業生の方々との旧交を温め、有意義な時間を過ごしました。

また、矢部寛名誉教授に友電会からお祝いの品と花束の贈呈をしていただきました。

この懇親会等では友電会様には色々お世話になりこの紙面をお借りし御礼申しあげます。

(記 ー 緑樹会会長 藤崎紘久)



⑤課外活動の活性化で「功労賞」を受賞した岡本清孝(H11)友電会副会長に竹田クラブ同窓会会長から花束贈呈



⑥出身の柔道部の学生から花束贈呈される

平成 29 年度友電会役員

●理事：21名

◆三役

会長 福田 武 (E02)
副会長 廣谷 明 (F12) 法人理事

広報担当

副会長 岡本 清孝 (H11) 法人評議員
組織・法人化委員会担当

副会長 水谷 元也 (E08)
事業担当

事務局長 柴垣 佳明 (D33)
総務・財務担当

◆総務・財務部会

森石 峰一 (F14)
野田 鐘一 (F07)
藤田 英治 (E22)
中田 亮生 (D32)

◆組織部会

志村 哲樹 (F07) 東海総支部長
山口 文男 (H07) 北関東支部長
小松 周治 (F06) 九州支部長
廣瀬 一夫 (F07)

◆事業部会

川口 明良 (F04) 法人評議員
山崎 敏之 (F14)
内野 正道 (F12)
小林 守正 (H12)

◆広報部会

吉田 祐三 (F06)
澤居比佐夫 (H17) びわこ支部長
段安 義彦 (F06) 京都支部長
辻 佳彦 (H13) 法人評議員

●監事：3名

池田 清 (I05)
吉川 博史 (I05)
尼丁 正奇 (F08)

●顧問：8名

臼井 宏 (E01)
羽瀨 完俊 (E01)
安 弘 (F01)
池本 善一 (E02)
猿渡 洋 (F02)
宮本 公明 (F03)
中西 義一 (E04)
中山 修 (F06)

●法人評議員：2名

畝本 正一 (E07)
堀江健二郎 (H14)

■友電会支部と支部長

(支部名 支部長・卒業学科・期)

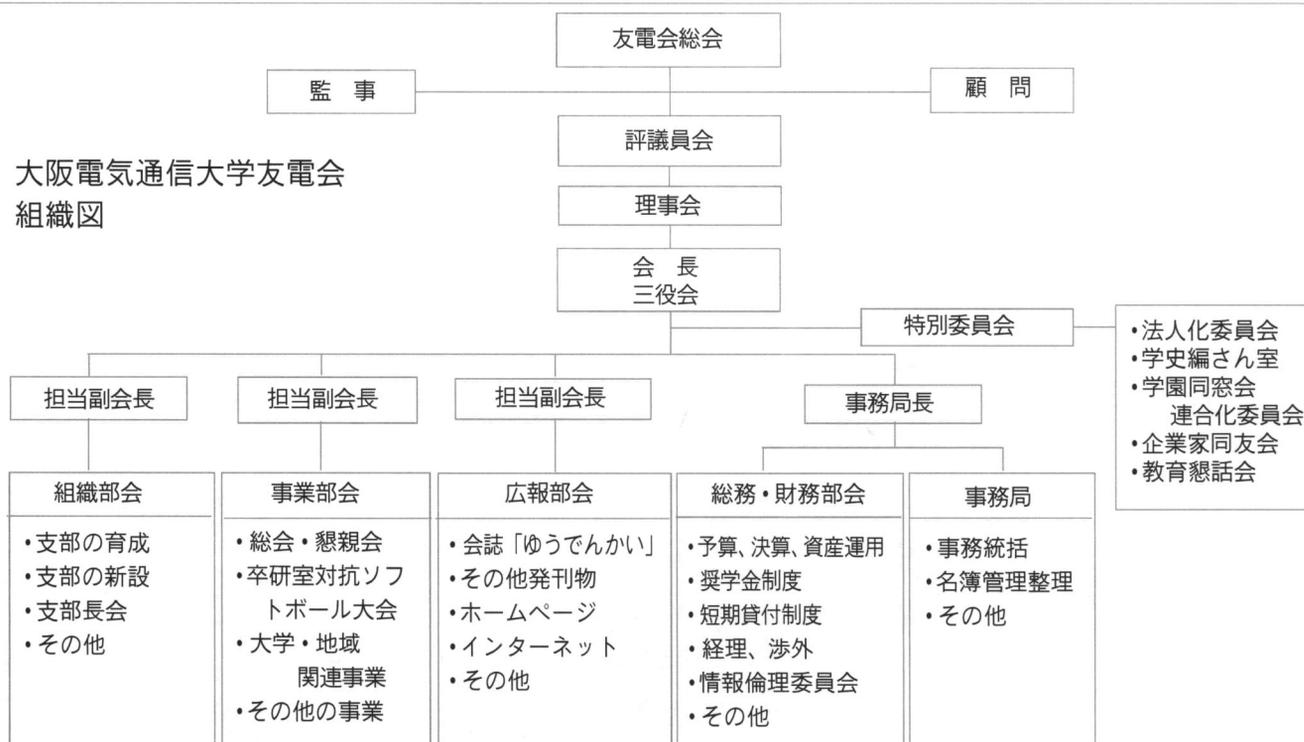
関東総支部 深野 隆司 (I09)
東京支部 観野福太郎 (E04)
北関東支部 山口 文男 (H07)
茨城支部 塩田 善裕 (H12)
千葉支部 神山 清明 (H15)
神奈川支部 田谷 利明 (F07)

東海総支部 志村 哲樹 (F07)
静岡支部 久保田陽一 (F05)
びわこ支部 澤居比佐夫 (H17)
京都支部 段安 義彦 (F06)
奈良支部 松井 俊樹 (I13)

大阪支部 平岡 臨 (I07)
神戸支部 幸村 常一 (H16)
三田支部 小西 巖 (E02)
石川支部 辻 久也 (I13)
九州支部 小松 周治 (F06)
北米支部 高岸 英人 (F17)

各支部の情報は友電会ホームページで <http://www.yudenkai.org/>

大阪電気通信大学友電会
組織図



平成29年度友電会評議員

平成30年3月末現在 195名

[第1期生]	守上 芳士 (E05) 神奈川	廣瀬 一夫 (F07) 新潟	辻 佳彦 (H13) 奈良	三砂 博一 (K23) 大阪
青木 政治 (E01) 埼玉	岩本 吉男 (F05) 埼玉	中口 武 (G07) 大阪	辻 久也 (I13) 石川	[第24期生]
大角 武紘 (E01) 大阪	大野 一廣 (F05) 大阪	一谷 醇 (H07) 滋賀	松井 俊樹 (I13) 奈良	澤井 剣 (G24) 兵庫
大塚 敏兼 (E01) 茨城	尾方 康祐 (F05) 千葉	田甫佐雅博 (H07) 滋賀	[第14期生]	[第25期生]
西原 正明 (E01) 香川	久保田陽一 (F05) 静岡	山口 文男 (H07) 群馬	森石 峰一 (F14) 大阪	石橋 明美 (I25) 東京
羽瀨 完俊 (E01) 神奈川	山口 朝弘 (F05) 滋賀	井平 佳秀 (I07) 大阪	山崎 敏之 (F14) 奈良	[第26期生]
藤崎 紘久 (E01) 大阪	山本 弘 (F05) 大阪	平岡 臨 (I07) 大阪	倉中 宏 (G14) 奈良	西尾 博道 (F26) 大阪
宮崎 孝 (E01) 神奈川	御崎 正吾 (G05) 大阪	[第8期生]	津本 雅章 (H14) 奈良	[第28期生]
臼井 宏 (E01) 兵庫	木村 幸治 (G05) 大阪	相羽 政信 (E08) 大阪	堀江健二郎 (H14) 滋賀	早野 秀樹 (E28) 大阪
安 弘 (F01) 京都	香西 順治 (G05) 大阪	石川 智之 (E08) 大阪	細川 雅巳 (I14) 奈良	清水 良 (F28) 福岡
國次 茂 (F01) 山口	坂上 晃一 (G05) 茨城	水谷 元也 (E08) 大阪	田中 二郎 (I14) 兵庫	[第29期生]
野村 康明 (F01) 愛知	高岡 亨 (G05) 京都	尼丁 正寄 (F08) 大阪	[第15期生]	伏本 和人 (I29) 大阪
[第2期生]	玉置 寛 (G05) 奈良	幸田 秀雄 (G08) 大阪	森蔭 剛久 (E15) 大阪	[第30期生]
櫻木 親房 (E02) 兵庫	星野 悟 (G05) 大阪	鎌谷 英一 (H08) 大阪	藤井 耕一 (F15) 大阪	大野 守 (M30) 大阪
池本 善一 (E02) 兵庫	堀内 定夫 (G05) 奈良	中出 知伸 (I08) 大阪	宮條 研次 (F15) 愛知	[第31期生]
上杉 靖男 (E02) 兵庫	堀井 浩 (G05) 千葉	宇野 茂嗣 (I08) 滋賀	皆川 重裕 (G15) 滋賀	新川 拓也 (M31) 大阪
小西 巖 (E02) 兵庫	藪野 美律 (G05) 兵庫	船越 亨 (I08) 大阪	神山 清明 (H15) 千葉	[第32期生]
谷口 一雄 (E02) 大阪	池田 清 (I05) 京都	芳山 和久 (I08) 香川	沖 洋一 (I15) 神奈川	中田 亮生 (D32) 大阪
福田 武 (E02) 長崎	吉川 博史 (I05) 大阪	[第9期生]	山下 友彦 (J15) 愛知	櫻木 嘉典 (E32) 大阪
藤野 雅也 (E02) 滋賀	[第6期生]	木村 功一 (F09) 茨城	[第16期生]	[第33期生]
猿渡 洋 (F02) 埼玉	奥村 義美 (E06) 大阪	宮崎 一幸 (F09) 大阪	渡辺 員行 (E16) 大阪	柴垣 佳明 (D33) 大阪
本田 頌次 (F02) 兵庫	兵藤 敏夫 (E06) 京都	栗栖 敏朗 (F09) 鹿児島	幸村 常一 (H16) 兵庫	[第35期生]
吉田 栄治 (F02) 茨城	吉岡 睦 (E06) 奈良	大音 博司 (G09) 大阪	島田慎太郎 (H16) 栃木	山村 友律 (J35) 大阪
[第3期生]	段安 義彦 (F06) 京都	岡川 正寛 (H09) 鳥取	菅 勝彦 (K16) 大阪	[第36期生]
稲垣 肇 (E03) 大阪	吉田 祐三 (F06) 奈良	下野 哲生 (H09) 京都	[第17期生]	金野 洋明 (M36) 大阪
竹本 信之 (E03) 大阪	小松 周治 (F06) 福岡	森 和明 (H09) 兵庫	國友 志保 (F17) 大阪	長谷川慎二 (G36) 大阪
原 一夫 (E03) 大阪	田中 稲夫 (F06) 滋賀	工藤 英男 (I09) 大阪	高岸 英人 (F17) 米	古本 賢二 (K36) 静岡
野田 哲治 (F03) 愛知	中山 修 (F06) 大阪	深野 隆司 (I09) 埼玉	澤居比佐夫 (H17) 滋賀	[第38期生]
菅野 和夫 (F03) 岩手	湯場崎直養 (F06) 京都	柴 育夫 (I09) 静岡	元花 修 (H17) 兵庫	阿南 景子 (D38) 大阪
佐藤 功 (F03) 長野	大下正二郎 (G06) 大阪	[第10期生]	[第18期生]	[第39期生]
辻 喜代克 (F03) 大阪	森川 佳宥 (G06) 京都	井野川 一 (E10) 大阪	田中 庸介 (E18) 京都	澤田 正雄 (P39) 大阪
廣沢 洋 (F03) 滋賀	北川 昇 (H06) 大阪	北地 憲治 (E10) 東京	生駒 京子 (I18) 大阪	[第40期生]
三橋 長夫 (F03) 滋賀	大川 恒一 (H06) 大阪	山崎 貞彦 (E10) 兵庫	[第19期生]	三上 哲夫 (M40) 奈良
宮本 公明 (F03) 米	阪本 和夫 (H06) 奈良	山崎洋一郎 (H10) 兵庫	竹田 治英 (F19) 埼玉	[第41期生]
[第4期生]	松伏 正隆 (H06) 滋賀	佐藤 涉一 (I10) 千葉	[第20期生]	西川 達也 (M41) 滋賀
辻 勝久 (E04) 三重	横道 一雄 (H06) 兵庫	[第11期生]	奥田 裕 (H20) 京都	越野八重美 (L41) 大阪
北森 弘樹 (E04) 奈良	前田 實 (I06) 広島	松田 啓 (F11) 石川	中川 雅弘 (H20) 大阪	[第44期生]
中西 義一 (E04) 滋賀	国松 敬三 (I06) 大阪	鬼原 治紀 (G11) 大阪	中前 浩也 (H20) 奈良	村上 豊裕 (G44) 大阪
観野福太郎 (E04) 東京	藤本 明 (I06) 兵庫	小舟 定行 (G11) 三重	[第21期生]	[第45期生]
藤原 公彦 (E04) 京都	[第7期生]	岡本 清孝 (H11) 大阪	杉田 吉広 (G21) 神奈川	竹中 浩之 (F45) 和歌山
大下真二郎 (F04) 長野	稲原 廣法 (E07) 兵庫	[第12期生]	坂本 充 (H21) 千葉	[第48期生]
川口 明良 (F04) 神奈川	畷本 正一 (E07) 東京	内野 正道 (F12) 大阪	坂手 宏行 (J21) 埼玉	中島 拓哉 (E48) 大阪
中島 良造 (F04) 大阪	蝉 正敏 (F07) 大阪	廣谷 明 (F12) 滋賀	[第22期生]	[第49期生]
藤田 順彦 (F04) 奈良	志村 哲樹 (F07) 愛知	恩智 博司 (H12) 埼玉	藤田 英治 (E22) 愛知	辻 琢磨 (D49) 和歌山
[第5期生]	田谷 利明 (F07) 神奈川	小林 守正 (H12) 兵庫	[第23期生]	[第50期生]
木村 正彦 (E05) 奈良	寺田 豊 (F07) 滋賀	塩田 善裕 (H12) 茨城	谷 寿倫 (F23) 京都	嶋村 拓都 (M50) 大阪
中尾 稔 (E05) 大阪	野田 鐘一 (F07) 大阪	[第13期生]	竹内 和生 (I23) 埼玉	
中野 正三 (E05) 東京	長谷川 洋 (F07) 米	榊原 秀之 (H13) 愛知	蕭 焜森 (K23) 東京	

新卒業生・新入学生の皆さんへ

同窓会組織「友電会」の活動・運営

「大阪電気通信大学と緊密に連繋を保持し、その発展に協力し会員相互の親睦と研修を図るとともに教育、学術、文化の発展に寄与する」(友電会定款第4条)ーことを目的に友電会は大阪電気通信大学の同窓会組織として第1期生が卒業した昭和40年に創立しました。

平成29年度で53年目を迎え、正会員数も今年度卒

業の第53期卒業の皆さんを加えますと約5万名を上回る大所帯になります。同窓会活動の基盤となる支部は近畿圏の主な府県をはじめ関東、東海、九州などに設置し、支部活動を展開しています。

ここでは、同窓会組織「友電会」の事業・活動を紹介します。一読され、友電会の事業・活動を理解していただき、積極的な参画と協力をお願いします。

■事業部会



「第40回卒研対抗ソフトボール大会」
(平成29年8月・寝屋川キャンパス・グラウンドで)

事業部会は友電会本部総会・懇親会、卒研室対抗ソフトボール大会などを担当しています。

まず、友電会本部総会は、友電会の最高決議機関であり、最も重要な行事であると同時に、懇親会は母校・教職員OB会「緑樹(みどり)会」、「クラブ同窓会」の3団体合同で会員相互、恩師との交流を図っています。

また、卒研室対抗ソフトボール大会は平成29年度で第40回目を迎え

【活動内容】

- ・総会・懇親会
- ・卒研室対抗ソフトボール大会
- ・「なわてん」協賛
- ・その他の事業

ます。昨年8月開催の大会には26チーム約400名の学生・先生が参加、学内では最大規模の恒例行事になっています。

「なわてん」へも昨年より協賛、優秀作品3組に「友電会賞」を贈っています。

■総務・財務部会

総務・財務部会は、定款の第37条から第45条で規定されている友電会における資産および会計、具体的には予算・決算、資産運用、奨学金、短期貸付、経理などの業務を担当しています。ただし、実際の日々事務処理業務は友電会事務局において処理されています。また、収支決算お

よび予算、貸借対照表に基づく資産状況については、毎年公認会計士の指導の基に作成したのち、友電会監事による監査を経て6月の友電会総会に報告し承認をもらっています。

なお、急にお金が必要な場合は学生課をたずねてください。友電会の短期貸付制度を利用することができ

【活動内容】

- ・予算、決算、資産運用
- ・奨学金制度
- ・短期貸付制度
- ・経理 ・渉外 ・その他

ます。また、奨学金についても友電会では充実をはかっており、詳しくは学生課に相談してください。

■友電会理事会・評議員会

理事会は友電会の執行機関であり、定款に定める予算、事業の計画などの事項に対する審議議決と執行、また総会の計画運営、総会より委任された事項の議決に対する執行を行うところです。理事会が執行する案件で、重要と会長が認めた事項

に加えて、定款第26条に規定されている事業計画および収支予算、ならびに事業報告、収支決算、さらに財産の処分などについては評議員会の承認を得なければなりません。

また、理事会は年6回、評議員会は年3回開催しています。

理事会は10名以上21名以内の理事で構成すると定款で規定。現在は福田武会長のもと21名の理事で構成され、日々事項の決定と執行にあたっています。評議員は195名(平成30年3月末現在)で、理事会からの諮問に応じています。

■広報部会

本誌「ゆうでんかい」の編集・発刊、友電会ホームページの編集・掲載が主な活動です。

会誌は5月(総会通知号)、3月(卒業生・新入生特集)など年2回、発行しています。

ホームページは友電会のニュースを中心に母校学園や学生の動向などを掲載しています。会誌とホーム

【活動内容】

- ・会誌「ゆうでんかい」
- ・その他発刊物
- ・ホームページ
- ・その他

ページとをリンクしています。ホームページでは速報性を重視し、会誌はじっくりと読んでもらうことを中心に編集しています。

■学史編さん室

学史編さん室は、「同窓会から見た大学の歴史」の編さんに取り組んでいます。母校の草創期からの『母校の歩み』を中心に、その当時のことを先生や教職員の方々にインタビューなどを通じて『記録』していくことにしています。

■組織部会

支部活動は同窓会活動の基礎であり、組織部会では支部の育成・活性化と新設に力を入れて取り組んでいます。現在、国内外に17支部(16ページの「友電会の支部」参照)があり、それぞれ独自の事業・活動を展開しています。支部活動は、同窓会活動の『基礎』であり、機会あるごとに「全国支部長会」を開催し、支部間の情報交換や活性化のための意見交換をしています。

各支部では、新卒業生の参画を大歓迎しています。支部については本部事務局にお問い合わせください。また友電会ホームページには支部総会

【活動内容】

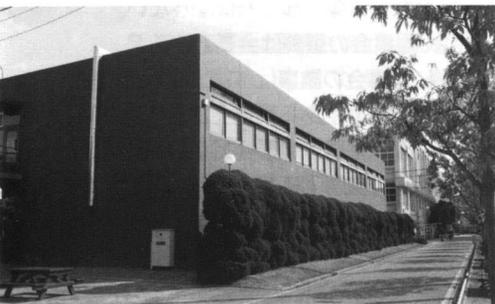
- ・支部の育成・活性化
- ・支部の新設
- ・支部長会
- ・本部はもとより支部の総会支援
- ・その他

の日程などを掲載しています。さらに、在学生の参画も呼びかけています。在学生時からOBとの交流がはかれるようにしています。支部総会懇親会などへの参加を大歓迎しています。



友電会では支部の活性化と新設に力を入れていきます。
(昨年・平成29年12月9日に開催された「東京支部」の設立総会。写真は親睦会の光景)

■友電会事務局



友電会事務局は、寝屋川キャンパスP号館1階にあります。月曜日から金曜日の午前10時から午後4時00分まで開いています。

気楽にお訪ねください。また、母校学園の教職員OB会「緑樹会」と同居しています。

友電会事務局は寝屋川キャンパスのP号館1階にあります。事務局には常時事務職員がおり、友電会の事務一般を処理しています。

友電会理事会および評議員会などの会議の案内や議事録作成および発送業務、会員名簿の整理更新処理および財務理事の指揮下での財産管理と財務会計処理業務であります。

事務局では、理事会・評議員会の円滑な運営と理事・評議員の活動しやすい形での支援をするとともに、

【活動内容】

- ・友電会活動の円滑な運営に伴う事務処理全般
- ・会議の運営および財産管理と会計処理業務

約5万名の会員と在学生(準会員)への支援サービスを行うことをモットーに業務に従事しています。

会員の皆様には、住所等の変更が生じましたなら事務局までご一報くださいますようお願いいたします。

大阪電気通信大学 友電会定款

第 1 章 総 則

- 第 1 条 本会は大阪電気通信大学友電会と称する。
- 第 2 条 本会は事務所を大阪府寝屋川市初町18番8号大阪電気通信大学内に置く。
- 第 3 条 本会は理事会の議決を経て支部を設けることが出来る。支部設置規則は、この定款の細則として別に定める。支部には支部長を置く。

第 2 章 目的および事業

- 第 4 条 本会は大阪電気通信大学と緊密に連繋を保持し、その発展に協力し会員相互の親睦と研修を図ると共に教育、学術、文化の発展に寄与することを目的とする。
- 第 5 条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- ①研究発表会、講習会、座談会等の開催
 - ②機関誌、その他の刊行
 - ③大阪電気通信大学発展のための事業
 - ④会員相互の親睦と連絡
 - ⑤その他、目的を達成するための事業

第 3 章 会 員

- 第 6 条 本会の会員は次の通りとする。
- ①正会員
学校法人大阪電気通信大学が設置した大学の学部、大学院を卒業、または修了した者で、卒業時あるいは修了時まで所定の入会金および会費を納めた者
 - ②準会員
学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に在籍している学生で、所定の入会金を納めた者
 - ③特別会員
学校法人大阪電気通信大学が設置する大学の学部、大学院に専従する教職員である者
 - ④賛助会員
本会の目的に賛同し、その事業を援助する者で、理事会の承認を得た個人または団体
 - ⑤名誉会員
本会の目的達成に多くの貢献を

した者で理事会の決議を経て推薦された個人

- 第 7 条 会員は総会を組織し、総会の議決に加わる。
- 2、会員は本会の目的事業の遂行に積極的に協力するとともに、本会の会員としてふさわしくない行為をしてはならない。
 - 3、会員は本会の行う事業に対し、優先的にその利益を受けることが出来る。
- 第 8 条 会員は次の理由によりその資格を喪失する。
- ①脱 退
 - ②死亡および失跡宣言
 - ③除 名
- 第 9 条 会員が次の各号の一に該当するときは総会の議決を経て、会長がこれを除名することが出来る。
- ①本会の会員としての義務に違反したとき
 - ②本会の名誉を傷つけ、または本会の目的に反する行為があったとき
- 第 10 条 既納の入会金および会費等はいかなる理由があっても、これを返還しない。

第 4 章 役員、評議員、顧問および職員

- 第 11 条 本会には次の役員を置く。
- 理事 10 名以上 21 名以内（うち会長 1 名、副会長 3 名、事務局長 1 名を含む）。
- 監事 3 名。
- 理事および監事は評議員会で選出し総会で承認を得る。
- 理事は互選で会長 1 名、副会長 3 名、事務局長 1 名を決める。理事は会長の指名により財務担当をはじめとする会務を分担する。
- 監事は理事を兼任出来ない。
- 第 12 条 会長は本会の業務を総理し本会を代表する。
- 2、副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、または欠けたときは会長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。
- 第 13 条 理事は理事会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項は議決し、執行する。
- 第 14 条 監事は民法第 59 条の職務を行う。
- 第 15 条 本会の役員の任期は 2 年とする。
- 2、補欠による役員の任期は前任者の残任期間とする。

- 3、役員はその任期満了後でも後任者が就任するまではその職務を行う。
- 4、役員は本会の役員としてふさわしくない行為があった場合、または特別の事情があった場合には、その任期中であっても理事会の議を経て評議員会の議決により、会長がこれを解任することが出来る。

- 第 16 条 役員は有給とすることが出来る。
- 第 17 条 本会には評議員を若干名置く。
- 2、評議員は評議員会を組織し、この定款に定めるもののほか、総会より委任せしめられた事項を議決する。また理事会の諮問に応ずる。
 - 3、評議員の任期は 2 年とする。ただし再任は妨げない。
- 第 18 条 本会の評議員は次の通りとする。
- ①正会員のうちから卒業年度別に総会または理事会で選出された者
 - ②支部長
- 第 19 条 本会には理事会の議決により顧問を若干名置くことが出来る。
- 2、顧問は会長がこれを委嘱する。
 - 3、顧問は会長の相談に応ずる。
- 第 20 条 本会の事務を処理するため、事務局を設け職員を置くことが出来る。
- 2、職員は会長が任免する。
 - 3、職員は有給とする。

第 5 章 会 議 (理事会)

- 第 21 条 理事会は毎年 6 回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた場合または理事現在総数の 3 分の 1 以上、あるいは監事から会議の目的たる事項を示して請求のあった時は、ただちに会長は臨時理事会を招集しなければならない。
- 2、理事会の議長は会長とする。
- 第 22 条 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、理事現在総数の 2 分の 1 以上出席し、その出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 2、理事は理事会を欠席する場合、あらかじめ書面をもって意見を表明しなければならない。
 - 3、理事の委任状は出席者とみなされない。ただし、支部長が理事を兼ねた場合に限り、当該支部の役員で、理事でない者が委任状を持参のうえ、代理として出席し、議決と執行に加わることが出来る。

(評議員会)

第23条 評議員会は毎年3回会長が招集する。ただし会長または監事が必要と認めるとき、または評議員現在総数の2分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求のあったときは、会長はその請求のあった日から20日以内に評議員会を招集しなければならない。

第24条 評議員会の議長は会議のつど評議員の互選で決める。

第25条 評議員会の招集は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

第26条 次に掲げる事項については、理事会においてあらかじめ評議員の意見を聞かなければならない。

①事業計画および収支予算案、ならびに事業報告および収支決算についての事項

②不動産の買入れ、または基本財産の処分についての事項

③その他、本会の業務に関する重要事項で会長において必要と認めた事項

第27条 評議員会は評議員現在数の5分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決することは出来ない。ただし、当該議事につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は、出席者とみなす。

第28条 評議員会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(総会)

第29条 通常総会は毎年1回、会計年度終了後90日以内に会長が招集する。

2、臨時総会は理事会または監事が必要と認めるとき、ただちに会長がこれを招集しなければならない。

第30条 会長は会員現在総数の10分の1以上から会議に付議すべき事項を示して、総会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から20日以内に臨時総会を招集しなければならない。

第31条 総会は、すくなくとも10日以前にその会議に付議すべき事項、日時および場所を記載した書面をもって通知する。

第32条 次の事項は通常総会に提出して、その承認を受けなければならない。

①事業報告および収支決算ならび

に事業計画および収支予算

②財産目録および貸借対照表

③その他理事会において必要と認め

た事項

第33条 総会は、会員現在総数の100分の1以上出席しなければ、その議事を開き議決をすることが出来ない。ただし、当該事項につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は出席者とみなす。

第34条 総会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第35条 総会の議事の要項および議決した事項は会員に通知する。

第36条 総会、理事会および評議員会の議事録は議長が作成し、議長および出席代表2名以上が署名捺印のうえ、これを保存する。

第6章 資産および会計

第37条 本会の収入は次の通りとする。

①入会金および会費

②事業に伴う収入

③資産から生じる果実

④寄付金品

⑤その他の収入

第38条 本会の資産を分けて、基本財産および運用財産の2種類とする。

2、基本財産は、別紙財産目録のうち、基本財産の部に記載する資産および将来基本財産に編入される資産で構成する。

3、運用財産は、基本財産以外の資産とする。ただし、寄付金品であって、寄付者の指定するものはその指定に従う。

第39条 本会の資産は、理事会の決議によって会長が保管する。

2、基本財産のうち、現金は理事会の議決によって確実な有価証券を購入するか、または定額郵便貯金とし、もしくは確実な銀行に信託するか、あるいは定額預金として会長が保管する。

第40条 基本財産は処分し、または担保に供してはならない。ただし本会の事業遂行上、やむを得ない理由があるときは、理事会および総会の議決を得、その一部に限り処分し、担保に供することが出来る。

第41条 本会の事業遂行に要する費用は入会金、会費事業に伴う収入および資産が生ずる果実等の運用財産を

もって支弁する。

第42条 本会の事業計画およびこれに伴う収入予算は毎年会計年度開始前に会長が編成し理事会の議決および総会の承認を受けなければならない。なお、事業計画およびこれに伴う収支予算を変更した場合も同様とする。

第43条 本会の決算は、会計年度終了後3ヵ月以内に会長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書および会員の異動状況書とともに監事の意見をつけて理事会および通常総会の承認を受けなければならない。

2、本会の決算に剰余金があるとき、理事会の議決および総会の承認を受けて、その一部もしくは全部を基本財産に編入し、または翌年に繰越すものとする。

第44条 収支予算で定めるものを除くほか、新たに義務の負担をし、または権利の放棄をしようとするときは、理事会および総会の議決を経なければならない。

第45条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第7章 定款の変更ならびに解散

第46条 この定款は、理事会および総会のおの5分の3以上の議決を経なければ変更することが出来ない。

第47条 本会の解散は、理事会および総会のおの4分の3以上の議決を経なければならない。

第48条 本会の解散に伴う残余財産の処分は理事会および総会のおの4分の3以上の議決を経てから大阪電気通信大学学長の許可を受けて、本会の目的に類似の目的を有する公益事業に寄付するものとする。

第8章 補則

第49条 この定款施行についての細則は、理事会および評議員会の議決を得て別に定める。

第50条 昭和48年11月1日施行
昭和52年5月29日改正
昭和55年6月29日改正
昭和57年6月27日改正
平成3年6月30日改正
平成5年6月27日改正
平成7年6月25日改正
平成13年6月23日改正
平成16年6月26日改正



あいさつする
大石利光学長



あいさつする
福田武(E02)友電会会長



あいさつする大学後援会
の河本智子会長



懇親会の光景

11月4日に母校・寝屋川キャンパスで 「ホームカミングデー2017」開催

母校・大学後援会・友電会は共同で11月4日午後、母校・寝屋川キャンパスで「おかえりなさい!大阪電気通信大学」と題して、「ホームカミングデー2017」を開催しました。このイベントは、友電会会員を招いて、恩師や同窓生と旧交を温めるとともに、母校の近況を感じていただくことを目的にしています。当日は「第57回大学祭」(4日、5日)も開かれており、友電会会員約100名を含め、母校教職員OBや教職員など約130名の参加者は、にぎやかなキャンパスで在学生の展示・模擬店などを楽しんでいました。

●ホームカミングデーで 演奏を楽しむ

午後3時から寝屋川キャンパスZ号館2階の学生ホールで軽音楽部OB&ギターマンドリンクラブOBによる「ライブ」がありました。

「カントリーメイツ」は、「ユー・アー・マイ・サンシャイン」など懐かしのアメリカ民謡を奏でました。続いて「チェックメイツ」はスタンダードなJAZZを演奏。最後に「The Blue Thunder Boys」は、「花はどこへ行った」などフォークソングをはじめ、あらゆるジャンルの曲を披露しました。

ライブは3チームがそれぞれ20分間、約1時間にわたって行われ、学生時代に聞いた曲を懐かしむと同時に、演奏を楽しんでいました。

●懇親会で交流と親睦深める

「懇親会」は、午後4時30分からZ号館3階の学生ホールで、田中俊介(放送研究会、理学療法学科2回生)氏の司会で開会しました。

なお、司会から「ここで、ビックでうれしいニュースがはいりました」と前置きし、「平成29年秋の叙勲において、母校元学長の都倉信樹先生が瑞宝中綬章を受章しました」

参加者全員で記念写真(教職員OB・教職員と1期生から7期生)





「カントリーメイツ」の演奏光景



「チェックメイツ」の演奏光景



「The Blue Thunder Boys」の演奏光景



懇親会の司会。
放送研究会の田
中俊介氏



乾杯の音頭をとる
森幸治副学長



閉会の辞を述べる
伊與田功学生部長



「演奏会」会場の光景

との発表に、会場から大きな拍手が沸き起こっていました。都倉元学長は、第9代学長として2008年4月に就任し、2012年3月までの4年の間、本学の発展に尽力されました。

会はず、母校の大石利光学長は「おかえりなさい」と参加者へ感謝の意を示すとともに、「変えてはならないことは2つあります。1つは『建学精神』、もうひとつは『絆』です」と語り、母校の発展への協力を要請しました。

続いて友電会の福田武(E02)会長は、「現在、友電会を一般社団法人にすべく頑張っています。同窓会の

法人化は、母校の発展に貢献することにも繋がります」とし、「母校の発展に会が一丸となって取り組んでいきます」あいさつ。

大学後援会の河本智子会長は「在学生の就職面での協力をお願いしたい。また、在学生に社会の厳しさを教えてほしいと思います」と述べました。

森幸治副学長の「乾杯」の音頭で、パーティーの開宴です。

歓談のあと、母校の「奇術愛好会」のマジックがあり、出席者から爆笑が沸き起こっていました。

懇親会には在学生も参加してお

り、在学生と友電会会員が話し合う光景もみられました。また、恩師と語り合ったり、同窓生同志で近況や学生時代の思い出話にふけったりで和んだ雰囲気のパティーとなりました。

「大学歌」の斉唱です。吹奏楽団の演奏にあわせ、大きな声で「浪速の東淀川に〜」を歌い上げ、全員で記念写真に納まりました。

母校・学生部長の伊與田功先生が閉会の辞を述べ、来年の「ホームカミングデー」での再会を約して散会しました。

参加者全員で記念写真
(教職員OB・教職員と8期生以上)



母校・寝屋川キャンパスでは平成29年11月4日(土)、5日(日)の両日、「第57回大学祭」が開催され、多くの来場者で大盛況を博しました。また、4日は「おかえりなさい!大阪電気通信大学」と題して、「ホームカミングデー2017」が開かれました。5日は最先端の科学技術をわかりやすく紹介する、見る!触れる!学ぶ!体験イベント「第10回 テクノフェアin ねやがわ」を寝屋川キャンパス・駅前キャンパスで開催されました。



「第57回大学祭」オープニングセレモニー
(母校・寝屋川キャンパスの中庭ステージ)

母校で「第57回大学祭」開かれる

●オープニングセレモニー

「shining jewels」テーマの「第57回大学祭」のオープニングセレモニーは11月4日午前10時から、母校・寝屋川キャンパスの中庭ステージで開催されました。

まず、母校の大石利光学長は「今年のテーマはご来場くださる全ての方に宝石にも負けない光り輝く笑顔になっていただきたいという思いが込められていると聞きました。ご参加くださった皆様が輝く笑顔で喜んでいただける大学祭となるようお祈りします」とあいさつ。

次いで母校・学生部長の伊與田功先生は「春ころから1年生が主カメンバーである大学祭実行委員会の方たちが意見を戦わせながら準備してきた大学祭がいよいよ始まります。厳しい予算制約の中で最高のパ

フォーマンスとなるものと期待しています」述べました。

続いて同窓会組織である友電会の福田武(E02)会長は「OBとして、母校の大学祭を楽しみにしてきました。近所の方々など、すでに多くの来場者がつめかけています。楽しい大学祭になるよう期待しています」と語られました。

クラブ同窓会の竹田治英(F19)会長は「今回のテーマのように、『宝石を輝かせる』すばらしい大学祭になるように頑張ってください。大学祭のパンフを見ても、楽しい催しが目白押しです」あいさつしました。

母校の第57期常任自治委員会の本多竜太渉外部長は「大学祭は大学で行う一番大きなイベントです。個性豊かな実行委員会の手によって、宝石のように輝く思い出となる大学

祭になることを期待します」と述べました。

最後に第57期大学祭実行委員会の坂部海地委員長は「上回生5人、1回生17人の委員で計画してきました。多くの企業様、団体様のおかげで今日という日を迎えることができました」と語り、「輝く宝石のような第57回大学祭の開幕です」と開会を宣言しました。

●キャンパス内では各種の催しが

大学祭期間中の4日、5日は各所で楽しい催しが展開されました。

両日ともにJ号館1階のレストランで「エレクトロニクス展」、同じレストランで「似顔絵の世界!!」、円形芝生の広場では「KEEP ON BEATZ」が催されました。

4日の午前10時30分から、J号館



子供「餅つき」に挑戦する光景



「エレクトロニクス展」の会場



にぎわった「模擬店」街

母校・四條畷キャンパスで 「なわフェス'17」を開催



あいさつする
大石利光学長



あいさつする
伊與田功学生部長



あいさつする福田武
(E02)友電会会長



あいさつする竹田治英 (F19)クラブ同窓会会長



あいさつする第57期常任自治委員会の本多竜太渉外部長



開会宣言をする第57期大学祭実行委員会の坂部海地委員長

1階のラウンジで「餅つき大会」。子供たちが必死になって餅つきに挑戦し、親たちも応援するなど、和んだ雰囲気になっていました。

グラウンドでは正午から、「君もスパイになろう」のテーマで「スパイ訓練所」が開設され、親子連れなどが楽しんでいました。

このほか、午後1時から中庭ステージで「ゲームアトラクション」、また、J号館1階のラウンジでは「モンスタークエスト」、続いて「クイズ王に俺はなる!」、3時30分からグラウンドで「飛ばせRocket」が展開されました。

また、恒例の「クロスドレス～美を求めて～」は、4日午後5時から中庭ステージで開かれ、大変なにぎわいでした。

5日はグラウンドで午前10時から「～4つの試練を乗り越えろ～」のテーマで「FOURTH TRIAL」が、午後



11月26日(日)、母校・四條畷キャンパスで「なわフェス'17」を開催しました。

「なわフェス」は、学外の方々に本学のことを知ってもらうことを目的に始まった四條畷キャンパスの一大イベントです。8回目を迎える今年は『お菓子』をテーマに、四條畷キャンパスイベント運営委員会の学生が中心となって、趣向を凝らした多彩な企画を実施しました。

コナミホールでは声優の藤田茜さんと野村麻衣子さんによるトークショーが開催され、集まったファンの方々に会場は大いに盛り上がり、体育館やKOZUKIホールでは、お菓子をモチーフにしたゲームや後援会(保護者の会)による塗り絵を楽しむ家族連れの方々に賑わいました。ほか、オンラインカードゲーム

4時から「つくってとばそ〜lock on〜」。J号館1階のラウンジでは10時30分から「お宝ゲットたぜ!」、1時30分から「ぱくぱくりズムキャッチ」、午後4時30分から「テレビのピンチを救え」が開催されました。

中庭ステージでは午後6時30分から「ビンゴ大会で景品が欲しい!!!」が展開され、多くの来場者が詰めかけていました。

なお、中庭スジでは午後6時から

「Shadow verse」の大会や、学生が制作したゲームの展示、ストリート部によるステージでのパフォーマンスなど、非常にバラエティ豊かなラインナップで、幅広い層の方々が「なわフェス」を楽しみました。

学生たちは、自分たちで企画・運営することで多くのことを学び、また来場者の方々と交流も深まり、とても楽しく貴重な経験となりました。

(記事・写真ともに母校ホームページ「2017.11.27」掲載より)

「エンディングセレモニー」が行われ、つづいて「ビンゴ大会」が開催されました。

模擬店も毎年人気の「感電焼ソバ」など、『おいしい』ものを販売する店を中心にクラブなどが約40店を出店、にぎわっていました。また、展示・発表では「SF研のヤベー奴」など13会場にのぼりました。

まさに「宝石が輝く」楽しい催しっぱいの大学祭でした。

母校・「建築」「ゲーム」の2分野・新学科スタート

母校では、2018年4月に工学部「建築学科」と総合情報学部「デジタルゲーム学科」「ゲーム&メディア学科」をスタートします。「建築学科」の新設により、工学部の幅が広がり、「GAME 思考が、人を日本を世界を熱くする」をスローガンにした「ゲーム」関連学科の誕生により、母校は新たなスタートを切ります。これを機会に0Bとして「われらの母校」を力強く応援していきたいものです。

●工学部「建築学科」

「ITや最先端技術に強い、次世代の社会を担う建築士」—母校では2018年4月、工学部に「建築学科」を発足します。

近年、建築のIT化や多様化が進む中、建築に求められるニーズが複雑化し、建築士には幅広いスキルが求められています。

そこで、母校の強みであるIT、さらには環境や情報まで多岐にわたる専門領域の知識を基盤に、次世代を担う建築士の育成をめざします。

また、これからの持続可能な社会を実現するための「人と環境に配慮した建物・まちづくり」にも取り組み、社会に貢献できる建築家・建築技術者を育てていきます。

・「建築学科」に関連する資格

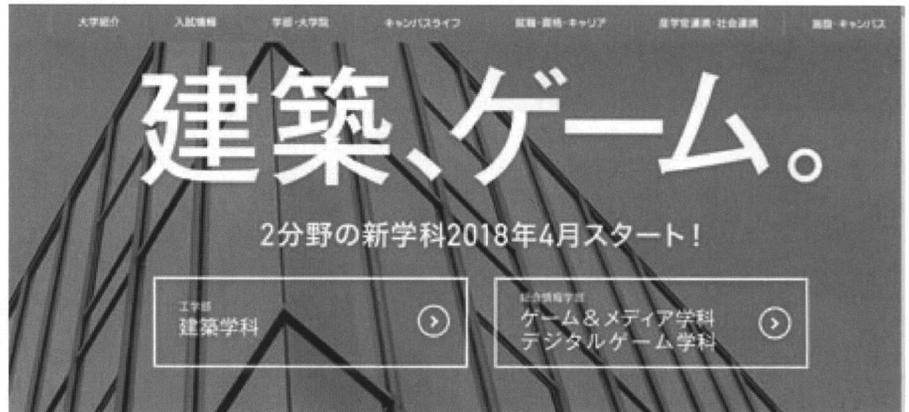
万全の資格取得サポートにより一級・二級建築士、木造建築士の取得をバックアップします。

・最先端が学べる充実した施設

製図室やコンピュータ環境を整備。最先端技術の建築への応用をめざし、3D造形先端加工センターなども設けています。

・経験豊かな教授陣

建築の第一線に立ち、さまざまな



母校ホームページより

分野で現場経験が豊富な教授陣が揃っています。

●総合情報学部「デジタルゲーム学科」「ゲーム&メディア学科」

「GAME 思考が、人を日本を世界を熱くする」をスローガンに、母校では2018年4月に「ゲーム&メディア学科」を開設します。

かつてゲームはテレビやゲーム機の中だけでした。でも今はどうだろう。

そのゲームの技術は「遊び」の領域から、「本気」で世の中を動かす「術」になっています。

「ゲーム」とはもはや、メディアであり、テクノロジーであり、リアルであり、未来であり、社会をより

ハッピーに変える力なのかもしれない。

あらゆる人が楽しめる仕組みを生み出す「GAME 思考」の可能性は、まだまだ広がっていきます。

日本初の「デジタルゲーム学科」設立から13年。

このたび、「デジタルコンテンツ」を幅広く学び、ゲームの可能性を広げる「ゲーム&メディア学科」が新たに誕生します。

産まれ変わった「デジタルゲーム学科」とともに、ゲームの魅力を広げて、世界を熱くしませんか。

(詳細は母校ホームページ <http://www.osakac.ac.jp/> をご覧ください)

母校・長崎外国語大学連携「第1回SD研修会」を実施

平成29年9月28日(木)、母校と長崎外国語大学との「第1回SD研修会」を長崎外国語大学で開催しました。この研修会は、先日締結された両校の大学間連携に関する協定に基づくものです。

今回は「学内ネットワークの情報管理について」と題し、職員の視点からの本学のネットワークの概要、情報資産の管理等の現況報告と今後

の課題等についての発表を行いました。

学内ネットワーク管理は双方の大学にとって重要事項であり、参加者は発表を熱心に聞き入り、有意義な研修会となりました。

連携協定に基づき今後は、(1)教育研究の連携に関すること、(2)学生間の研修・交流に関すること、(3)教職員のFD・SD研修に関すること、(4)教職員間の人事交流に関すること、を中心に取り組みを行っていきます。(記事・写真ともに、母校ホームページ「2017.10.10」掲載より)



基礎理工学科の 新入生歓迎イベント 「卵落としコンテスト」を開催

母校・工学部基礎理工学科の新入生歓迎イベント「卵落としコンテスト」が5月19日（金）に寝屋川キャンパスで開催しました。

「卵落としコンテスト」は、A2セント紙1枚、はさみ、ものさし、セロハンテープなどの限られた材料を使って卵を守る緩衝器を製作し、卵が割れないように学舎5階（約18mの高さ）から落とす競技です。物理などの科学知識だけでなく、アイデアやモノづくりのセンスも問われる頭脳競技で、今年で11回目を迎える基礎理工学科の恒例行事となっています。

新入生は3、4人ずつの14チームに分かれ、約1ヵ月前から製作を開始。なかなかアイデアが浮かばず苦労しながらも、メンバー全員で協力し、個性豊かな作品を完成させました。

当日は、各チームの代表者が設置された的をめぐって順番に作品を落とし、14チーム中6チームが卵を割らずに落とすことに成功。風が少し強い日だったこともあり、壁にぶつかったり、思ってもいないところへ飛んでいったりとハプニングもありましたが、拍手や歓声、笑いが絶えず、参加者全員が大いに楽しんでいました。

競技終了後にはプレゼンが行われ、各チームが作品の特徴や独自の工夫などを発表しました。そして審

査を待つ間、落とした卵を使った卵料理や軽食を楽しみ、談笑しながら過ごしました。

結果は、卵を割らずに、かつ目標にもっとも近い位置に落下させた「タマゴ守り隊」と「ザ・ネイチャーズ」の2チームが最優秀作品賞を受賞。見事なプレゼンテーションを行ったチーム「卵戦隊守るんジャー」にはプレゼン賞、卓越したアイデアで作品を作ったチーム「YNNT」にはアイデア賞、目標に一番近い位置に落下させたチーム「肥下と愉快的仲間たち」にはホールインワン賞が授与されました。

基礎理工学科主任の柳田達雄教授は、「この行事は、『仲間とのコミュニケーション』と『モノづくりを楽しむこと』を目的に開催している。学生らが和気あいあいと楽しく取り組んでくれてよかった」と笑顔で語りました。仲間との親睦を深め、モノづくりの面白さを体験した新入生の皆さんが、今後も楽しみながら学びを深めてくれることを期待しています。

なお、本日のイベントの様子はJ:COM「デイリーニュース北河内」で5月22日に放映されました。

（記事・写真ともに「母校ホームページ・2017-05-19」掲載より）

名誉教授称号記授与式を行いました

平成29年8月1日（火）、母校・寝屋川キャンパスで名誉教授称号記授与式を行いました。

授与された先生は次のとおりです。

- ・福田共和（元 副学長・工学部基礎理工学科教授）
- ・山原英男（元 工学部数理科学研究センター教授）
- ・森下克己（元 工学部電子機械工学科教授）
- ・大野宣人（元 工学部基礎理工学科教授）
- ・辻谷将明（元 情報通信工学部情報工学科教授）
- ・樋口英世（元 情報通信工学部通信工学科教授）

大石利光学長と成瀬淳理事長からは、今回授与された先生方の長年にわたる大学への貢献に対し感謝の言葉が述べられました。また、授与式後の昼食会では、和やかな雰囲気の中、思い出話や近況報告などを楽しむ様子が見られました。

（記事・写真ともに母校ホームページ「2017.08.02」掲載より）



■母校の学生団体一覧

2017年6月1日現在

	新入生	学生数
■体育会所属公認団体(部)		
合気道部	2	13名
アメリカンフットボール部	8	29名
空手道部	1	5名
弓道部	6	13名
剣道部	3	18名
硬式庭球部	10	20名
硬式野球部	25	82名
サイクリング部	7	11名
サッカー部	21	36名
自動車部	14	40名
柔道部	4	9名
少林寺拳法部	0	5名
女子バスケットボール部	6	17名
スキー部	22	46名
ソフトテニス部	4	17名
卓球部	5	21名
男子バスケットボール部	13	32名
軟式野球部	14	34名
バドミントン部	7	23名
バレーボール部	10	18名
ハンドボール部	6	22名
ラグビーフットボール部	0	6名
陸上競技部	7	17名
フットサル部	8	27名
小計	203	561名

■文化会所属公認団体(部)		
映画研究会	10	46名
SF研究会	24	56名
音響研究会	0	5名
管弦楽団	8	17名
ギターマンドリンクラブ	3	8名
軽音楽部	19	41名
コミックアート	9	34名
吹奏楽団	0	16名
ストリート部	8	17名
通信研究会	5	19名
デザインコミュニケーション部 WAVE	15	25名
電子技術研究部	4	25名
電子計算組織研究会	15	38名
Photo部	1	15名
文道部	1	14名
放送研究会	4	18名
小計	126	396名

	新入生	学生数
■文化会所属公認団体(同好会)		
奇術愛好会	2	9名
美術愛好会	0	1名
ボランティア同好会	2	8名
小計	4	18名

■その他団体(委員会)		
常任自治委員会	7	20名
大学祭実行委員会	17	22名
四條畷キャンパス イベント運営委員会	19	29名
小計	43	71名

■自由工房		
マイコンカーラリー	1	4名
マイクロマウス	1	3名
知能ロボット	3	11名
EV(電気自動車)	2	4名
レスキューロボット	3	13名
ヒト型ロボット	10	21名
小計	20	56名

■学生部登録サークル		
漕艇	0	4名
3×3	2	12名
アウトドア	13	13名
ラーメン	8	17名
東方二次創作	10	11名
PlayAndCreate	20	46名
OELC	0	24名
OE-Sports	0	20名
DJ	7	7名
ねやファーム	0	6名
Atlantis	10	10名
卓上遊戯研究会	0	6名
TRPG	0	14名
遊戯王	16	16名
小計	86	206名

■休部団体		
学生自治会直屬公認団体 応援團		

●総合計 482 1308名

自由工房の学生が 「ロボファイト18」で 優勝・準優勝しました



平成29年9月3日(日)、関西最大級の二足歩行ロボット格闘競技会「ロボファイト18」が大坂工業技術専門学校で開催され、自由工房ヒト型ロボットプロジェクトの吉田拓斗さん(工学部機械工学科1年生)が「SRC1.8kg以下級」で優勝、森下英治さん(総合情報学部情報学科2年生)が同級で準優勝しました。

「SRC1.8kg以下級」は、市販の機体や「1.8kg以下」の自作機を対象とした小型機専用の部門で、本大会では31台がエントリーしました。

自由工房で自作したオリジナルのロボット「b(フラット)」で参加した吉田さんは、大学に入ってからヒ

■課外活動団体の現状

・在籍学生数 新入生 学生数
(6月1日現在) 1178 5019名

加入率(%) 新入生 全部員
課外活動団体 40.9 26.1
公認団体 28.3 19.4

2016年度公認団体加入率(%)
21.3 17.3

2015年度公認団体加入率(%)
18.2 16.7

2014年度公認団体加入率(%)
18.7 16.9



ト型ロボットを始めましたが、めきめきと力を付け、今回、公式大会で初の優勝を果たしました。

森下さんもオリジナルのロボット「コンカラー」で参加し、同門対決となった決勝戦で惜しくも吉田さんに敗れましたが、自由工房の2人で優勝・準優勝というすばらしい結果となりました。

今回の大会には、自由工房ヒト型ロボットプロジェクトから9人の学生が参加しました。

吉田さんと森下さんのほかに、藤本恵太さん（工学部電子機械工学科1年生）が「SRC1.8kg以下級」でベスト4に入りました。

自由工房ヒト型ロボットプロジェクトは、四條畷キャンパス2号館3階の工房で活動しています。板金加工などの装置を使って、市販のロボットの改造や自作ロボットの製作、さらにそれらの動作のプログラミングも行っています。今回のような大会に参加することで、日頃の成果を発揮するとともに、さらなる技術の向上をめざしています。

（記事・写真ともに母校ホームページ「2017.09.04」掲載より）



母校・自動車部主催 「2017 電通大 AUTUMN ラリー」 開かれる

母校・体育会自動車部（OECU-AC）主催の「2017電通大AUTUMNラリー」が10月29日（日）に開催されました。

このラリーは、四條畷キャンパスをスタート・ゴールとして、奈良県、京都府を周回する約120kmのコースで、平均速度や所要時間によって走行し、所定の到着時間との誤差の少なさで勝負するアベレージラリーとなります。

開催に先立ち、自動車部顧問で本大会会長の森幸治副学長と、自動車部部長で大会競技長を務める但井良輔さん（情報通信工学部情報工学科3年生）が、「くれぐれも事故のないように気をつけて完走してください



い」などと挨拶を述べました。

午前9時には、15台の参加車両が四條畷キャンパス第2駐車場のゲートから出発し、途中天候が崩れることもありましたが、午後2時過ぎには次々と四條畷キャンパスに戻り、ゴールをくぐりました。

表彰式では、伊與田功学生部長の挨拶に続き、総合クラスの1～3位

にJAFメダルと楯、副賞、4～6位に楯と副賞が贈られました。このほかクローズドクラスの優勝者などにも賞が贈られました。

（記事・写真ともに母校ホームページ「2017.10.30」掲載より）



女子バスケットボール部が 「電通カップ・近畿フェスティバル2017」で優勝

女子バスケットボール部は、12月26日（火）、27日（水）に開催された「電通カップ・近畿フェスティバル2017」で優勝をおさめ、シーズン最後の大会を終えました。

「電通カップ・近畿フェスティバル」は、近畿地区を中心に全国より高校11チームを招待し、強化・交流および普及を目的とする親善大会です。試合方法は3チームを1つとするブロックに分かれてリーグ戦を行い、各ブロックの成績から、決勝トーナメント、2位トーナメント、3位トーナメントに進出して順位を決定します。

初日のリーグ戦では、廣学館（京都）と芦屋学園（兵庫）に勝利してAブロックを1位で通過し、決勝トーナメントでは、大津商業（滋賀）に勝利して修文女子（愛知）との決勝に駒を進めました。大型選手を擁する修文女子にリードされる場面もありましたが、厳しいディフェンスからの速攻を武器に要所でシュートを決め、全国を狙う強豪チームとの激戦の末見事勝利をおさめ、電通カップ優勝でシーズンを締めくくりました。

市谷浩一郎監督（医療福祉工学部健康スポーツ科学科准教授）は「予



選リーグ・決勝トーナメントともにチームの持ち味を発揮して戦うことができました。電通カップは招待する側であり、大会の設営や物品の手配等に多くの準備が必要となる中、マネージャーを中心に部員が本当によく頑張ってくれ、無事に終了できたことが何より嬉しいです。お力添えを賜りました関係者の方々および来場者の皆様にご心より感謝と御礼を申し上げます」と述べました。

また、マネージャーの山本ほのかさん（医療福祉工学部健康スポーツ科学科3年生）は、「チームのデータ

収集やコンディショニングだけでなく、招待校のホテル探しや物品の手配、大会のスケジュール管理など大変でしたが、優勝で苦勞が一気に吹き飛びました。この調子で来年度も成績が残せるようサポートして行きたいと思っています」と語ってくれま

した。

市谷監督と部員たちは、本大会を振り返るとともに、次のシーズンに向けての決意を新たにする様子でした。女子バスケットボール部の今年の活躍にもご期待ください！

（記事・写真ともに母校ホームページ「2018.01.09」掲載より）

【大会順位】

- 優勝：大阪電気通信大学
- 準優勝：修文女子高校（愛知）
- 3位：高知商業高校（高知）
- 4位：大津商業高校（滋賀）
- 5位〈敢闘賞〉：高田商業高校（奈良）
- 6位：鳴門高校（徳島）
- 7位：芦屋学園高校（兵庫）
- 8位：好文学園女子高校（大阪）
- 9位〈敢闘賞〉：
六甲アイランド高校（兵庫）
- 10位：京都廣学館高校（京都）
- 11位：城陽高校（京都）
- 12位：羽衣学園高校（大阪）

最優秀選手賞：三澤風香さん（医療福祉工学部健康スポーツ科学科2年生）
優秀選手賞：善田清楓さん（医療福祉工学部健康スポーツ科学科1年生）



「女子バスケットボール部」 大阪府民体育大会で 優勝！

5月13日(土)～6月1日(木)の期間で開催された大阪府民体育大会・バスケットボール競技において、母校の「女子バスケットボール部」が見事優勝を果たしました。この大会は、大阪府下の実業団やクラブチームなど全てのカテゴリーを対象とした大会で、女子バスケットボール部は昨年準優勝をおさめており、今回はその記録を超える悲願の優勝となります。

6月1日(木)の決勝は、大阪中央体育館において予選1位の大阪社会体育専門学校との対戦。試合は出だし本学がリードするものの、相手のシュートがよく決まり前半終了間際に逆転されてしまうという展開。後半に入っても一進一退のままリードを5点に広げられましたが、最終ピリオドを迎え、プレッシャーを強めた本学ディフェンスを前に相手チームのシュートが落ち始め、残り2分で遂に逆転。その後は粘る相手チームを4点差でかわし、見事、初優勝という結果をおさめました。

●キャプテン荒木ありすさん(医療福祉工学部健康スポーツ科学科3年)のコメント

「前半は途中で相手に流れを持っ

大阪府民体育大会で優勝 「女子バスケット部」に 友電会からお祝い金

友電会(福田武(E02)会長)では、平成29年5月13日(土)～6月1日(木)に開催された大阪府民体育大会・バスケットボール競技において、母校の「女子バスケットボール部」が優勝したのを祝うため、7月12日(水)に母校・四條畷キャンパスの体育館でお祝い金10万円を贈呈しました。

贈呈式は岡本清孝(H11)友電会副会長から、キャプテンの荒木ありすさん(医療福祉工学部健康スポーツ科学科3年)に手渡されました。荒木さんは「今回のお祝い金は本当によろしいです。今後は、関西女子バスケットボールリーグ1部への昇格や府民大会の連覇を目指していきたい

と意気込みを語っていました。当日は毎日新聞社が取材に来るなど、母校の「女子バスケットボール部」は、学内外から注目されています。

ていかれ逆転されましたが、市谷先生の指示とベンチの声かけで粘り強くプレーを続けることができました。やはりコートとベンチが一体となって最後まで戦えたことが勝因だと思います」

●市谷浩一郎監督(医療福祉工学部健康スポーツ科学科准教授)のコメント

「最高でも最低でも優勝!と挑んだ大会。準決勝も決勝も負けてもお



岡本・友電会副会長から荒木キャプテンにお祝い金贈呈写真



女子バスケットボール部員と友電会の岡本副会長、柴垣佳明(D33)事務局長(母校教授)との記念写真

かしくない相手でしたが、選手がまとまりよく頑張ってくれました。ただ、内容的には満足していません。まだまだ強くなるチームなので、この結果に慢心せず、もう1ランク高いチームに仕上げて行きたいと思います。今大会、応援に来て頂いた保護者や教職員の皆様の声援に勇気を頂きました。心より感謝と御礼を申し上げます。

二人のコメントは、今大会を通じた確かな手応えと、次のステップへの新たな決意を感じさせるものでした。これからの女子バスケットボール部の活躍がますます期待できます。

●決勝・結果

大阪電気通信大学(予選2位) 67 {18-14、11-16、12-16、26-17} 63 大阪社会体育専門学校(予選1位)
(記事、写真ともに母校ホームページ「2017.06.02」掲載より)





【裏表紙に関連写真】

総合情報学部の 卒業研究・制作展

「2017年度 なわてん」

「2017年度 なわてん」(母校・総合情報学部 卒業研究・卒業制作展)は、平成30年2月3日(土)、4日(日)の両日、母校・四條畷キャンパスの6、7、10号館、体育館で開催されました。4日はコナミホールでスペシャルイベント『なわてんグランプリ』が催され、出品された197作品の中から優れた作品に各賞が贈られました。友電会では、昨年「なわてん」に協賛、「友電会賞」を3組に贈呈しました。

●「友電会賞」を3組に贈呈

「なわてん」は、総合情報学部デジタルゲーム学科、情報学科、メディアコンピュータシステム学科、デジタルアート・アニメーション学科の4学科の卒研生が「卒業研究・制作展」として開催しているものです。今回で15回目を迎え、197作品が出品されました。卒研生の個性豊かな

作品が展示され、多くの来場者でにぎわいました。

友電会では、母校の「大イベント」を後押しするため昨年から協賛、「友電会賞」を創設しました。

3日午後、福田武(E02)友電会会長をはじめ、担当の事業部会の川口明良(F04)部会長などが各作品を見回り、3組を選定しました。

●「なわてんグランプリ」

4日午後3時からコナミホールでスペシャルイベント「なわてんグランプリ」が約300名が出席して開催されました。

賞は、「グランプリ」、「準グランプリ」、「観客賞」、「友電会賞」、「後援会賞」、「アゴラ賞」、「学術研究賞」、「芸術賞」の8つの「賞」があり、会場で表彰状と副賞が手渡されました。

「グランプリ」には、吉内雄大さん



福田武(E02)
友電会会長



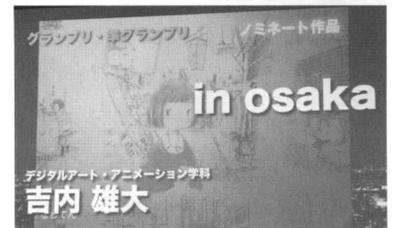
母校の大石利光学長



「友電会賞」を受賞した組に
表彰状を手渡す福田会長



「グランプリ」を
受賞した吉内雄
大さんと作品



(総合情報学部デジタルアート・アニメーション学科)の作品「in osaka」が選ばれました。日常的な大阪のよさをキャラクターを通じて表現した平面作品です。

「友電会賞」は、「喫煙発見センサーシステム」、「2018年問題を想定した中堅大学の生き残り戦略」、「鬼灯に告げる(ほおずきにつげる)」の3組に贈られました。3組には、福田友電会会長から表彰状と副賞が手渡され、作品を講評(別項の「友電会賞」講評を参照)しました。

また、「後援会賞」には、「小型ヒト型ロボット搭載用の2個の魚眼カメラ映像の没入提示」(助光 翔真さん・総合情報学部情報学科)が選ばれました。

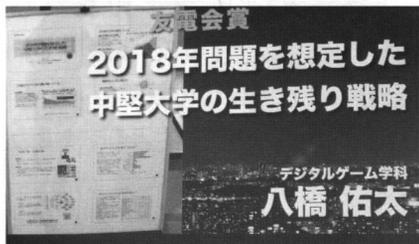
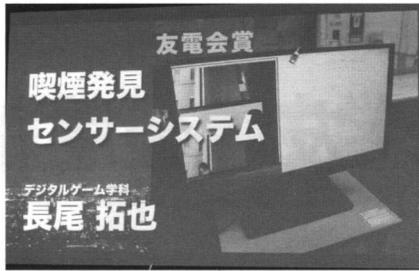
表彰式の後、入賞者を中心とした写真撮影が行われ、閉会しました。

入賞者の記念写真



■「なわてん」

④「友電会賞」を受賞した3作品



●「ホームカミングデー」開く

4日午後0時30分から、母校・四條畷キャンパス7号館1階のカフェテリア「エルスエヒロ」で、総合情報学部の「ホームカミングデー」が約70名が参加して開かれました。

同デーはデジタルゲーム学科の山路敦司先生の司会で開会、あいさつに立った福田武(E02)友電会会長は、「同じ学部の卒業生が集まり、情報を交換し、母校の現状を見るなど、

大変有意義なことです。今後もこの催しが続くことを期待しています」と語りました。

続いて母校の大石利光学長は、「本日は卒研生の卒業研究発表の日です。作品を見学するなど大いに楽しんでください」とあいさつ。

デジタルゲーム学科の渡部隆志先生の乾杯の音頭でパーティの開宴となり、各所で情報交換する光景が見られました。

■「友電会賞」講評

友電会会長 福田 武(E02)

今年で15回目を迎えた総合情報学部卒業研究・卒業制作展「なわてん」に友電会として昨年から参加し、今年も友電会賞として下記の3作品に授与いたしました。

映像作品、3DCGアニメ、AR・VR作品、ゲームアプリ、音響作品、イラスト、3D造形、プログラミング、研究論文など幅広い作品の中で、年々内容も充実、向上し、社会に貢献するテーマも多く見られました。

これら幅広い作品の数々(約197点)から3作品を選定するにあたり、大変苦慮致しましたが、学生の充実した熱意を感じ取ることができました。

1、「喫煙発見センサーシステム」

- ・論文
- ・上善研究室 長尾拓也

今はやりのモノのインターネット-IoT-を使った喫煙発見システムの研究で、インターネットを介してガスセンサーのデータを収集し、タバコを吸っているかもしれない場所

を検知するシステムの開発と実験の発表です。また、ガスセンサーでタバコを煙検するには多少時間の遅れが生じるため、カメラを併用して画像認識によりタバコを吸っているかもしれない映像を見つけられるようにしています。

この画像認識部分は機械学習を使っていて、これも今はやりのAIです。センサーをどうやって設置するか、タバコ以外の煙についてもどう反応するかを確かめて、精度を高めるための研究です。

2、「2018年問題を想定した中堅大学の生き残り戦略」

- ・論文
- ・小森研究室 八橋佑太

2018年問題とは、18歳人口の長期的な減少が確実化されており、大学進学率も伸びないと予測されることから、「定員割れ」の大学が続出することになり、既に多くの大学において、学生獲得競争が激化しており、各大学は生き残りをかけて改革が進められるようになってきました。

特に中堅私立大学経営において、

学生募集や入学者の勧誘の強化は、急を要する経営課題となってきました。マーケティング活動を基本に将来の成長戦略を考える上で、企業経営におけるCI活動にならって、広報活動の在り方を学生からの目線で、問題意識をもって取り組んだ研究です。

3、「鬼灯(ほおずぎ)に告げる」

- ・映像作品
- ・寺山研究室

小西雅、山下ヤンディー

本格的かつ映像美溢れるサイコホラー短編映画であり、学生の域を超えるプロ顔負けの機材や制作環境を作者2名のノウハウや経験、そしてバイタリティで整え、それらを駆使できていることです。撮影、配役、音楽、編集の各工程において、プロの仕事と言っても過言ではないレベルに達しているといえます。

内容的には、『SNSに潜む危うさへの警鐘』をテーマとしており、カメラワークの巧さと、プロ用の色調補正ソフトを駆使した美しい映像美が大変素晴らしい作品です。



テスター製作の会場光景

(『なわてんグランプリ2017』受賞作品は、誌面の都合上、このページに掲載しました)

■『なわてんグランプリ2017』受賞作品

【グランプリ】

- ◆作品名:「in osaka」
- ・吉内雄大さん(総合情報学部 デジタルアート・アニメーション学科※)

【準グランプリ】(2作品受賞)

- ◆作品名:「三人称視点ARマスタスレーブ方式によるロボットアームの遠隔制御」
- ・三谷峻生さん(総合情報学研究科 コンピュータサイエンス専攻)
- ・三谷一輝さん(総合情報学部 情報学科)

- ◆作品名:「卵」
- ・ザン洋さん(総合情報学部 デジタルアート・アニメーション学科※)

【観客賞】

- ◆作品名:「Gladuator」
- ・芥直弥さん(総合情報学部 デジタルアート・アニメーション学科※)
- ・赤井諒さん(総合情報学部 デジタルアート・アニメーション学科※)
- ・川枝直輝さん(総合情報学部 デジタルアート・アニメーション学科※)
- ・山下達也さん(総合情報学部 デジタルアート・アニメーション学科※)

【友電会賞】(3作品受賞)

- ◆作品名:「喫煙発見センサーシステム」
- ・長尾拓也さん(総合情報学部 デジタルゲーム学科)
- ◆作品名:「2018年問題を想定した中堅大学の生き残り戦略」
- ・八橋佑太さん(総合情報学部 デジタルゲーム学科)
- ◆作品名:「鬼灯に告げる(ほおずきにつげる)」
- ・小西雅さん、山下ヤンディーさん(総合情報学部 デジタルゲーム学科)

【後援会賞】

- ◆作品名:「小型ヒト型ロボット搭載用の2個の魚眼カメラ映像の没入提示」
- ・助光翔真さん(総合情報学部 情報学科)

【アゴラ賞】

- ◆作品名:「楠正行物語」
- ・小原健也さん(総合情報学部 デジタルゲーム学科)

【学術研究賞】

- ◆作品名:「公衆無線LANにおいて暗号化通信を実現するWaka-VPNの開発」
- ・若槻末緒さん、國本倫平さん(総合情報学部 情報学科)

【芸術賞】

- ◆作品名:「伊賀組紐を用いた衣装制作」
 - ・福森満津絵さん(総合情報学部 デジタルアート・アニメーション学科※)
- (※現デジタルゲーム学科)

友電会主催

友電会では平成29年10月21日(土)午後1時から、母校・寝屋川キャンパスY号館5階Y510教室で「将来、教職を目指す母校学生とOB教員との教育懇話会」を開催しました。当日は台風21号の影響で大雨となったり、他の用事で参加予定の学生5名が欠席するなどの影響があり、最終的に学生6名、大石利光・母校学長など母校関係者や友電会役員など19名が参加。研修会の後、場所をZ号館3階のレストランに移して懇親会を開き、親睦を深めました。

●開会式

今回で5回目を迎える同懇話会のテーマは「学習指導力の向上 Part2」と題し、「製作体験(テスター製作)とOB教員との交流懇談会」として開かれました。

開会式は澤居比佐夫(H17)友電会理事・友電会びわこ支部長の司会でスタート。まず、福田武(E02)友電会会長のあいさつで始まる予定でしたが、台風21号の影響で長崎県佐世保市在住のため出席できず、代わって同懇話会世話人代表で副会長の廣谷明(F12)氏が「大雨の中、出席ありがとうございます」と感謝の意を表すとともに、「今回の懇談会でOBの教員と交流され、学習の指導力を向上してほしい」と述べました。

続いて、大石学長は「友電会が母校への支援活動の一環として開催していただき、感謝しています」と語り、「今回の懇話会を通じて、学校教育に従事するための意義や教育者としての在り方について学んでほしい」とあいさつしました。

「教職を目指す学生とOB 教員との教育懇話会」



テスターを製作する参加学生



懇親会の光景

指導講師の滋賀県立八幡工業
高校教諭の皆川重裕 (G15) 氏

●第Ⅰ部「テスターの製作体験」

続いては、「テスター sanwa KIT-8D」の製作体験です。

指導講師は滋賀県立八幡工業高等学校教諭の皆川重裕 (G15) 氏。まず、テスターを製作するまでの①流れ・進め方、②パーツの確認、③ハンダ付け方法と注意点—について説明と実技があり、製作に着手しました。

学生とOB教員が、教えあい交流しながら製作しました。

午後2時にスタートし、午後4時半まで、じっくり2時間半かけての実習でした。

ハンダ付けは、大半の学生が初め



司会の澤居比佐夫 (H17) 友電会理事



あいさつする教育懇話会代表の廣谷明 (F12) 友電会副会長



あいさつする大石利光学長



講評を行う森石峰一 (F14) 友電会理事

とあって苦戦する姿も見られましたが、OB教員の指導もあって何とかテスターを完成させていました。

最後に完成チェック・動作点検があり、母校准教授の森石峰一 (F14) 先生の講評で、閉会しました。

参加した学生からは、「教員を目指している私たちにとって本当に良い機会を与えていただき、感謝して

います」といった声が聞かれました。

●第Ⅱ部「懇親会」

第Ⅱ部の「懇親会」は、Z号館3階の生協レストランで開催されました。

母校・副学長の森幸治先生は、「教員を目指している学生に対して、経験しているOBの教員の方々に指導と体験をさせていただき、ありがたいことです。学生にとっては今回の懇話会での経験を、教員として活かしてほしいです」とあいさつされました。

母校・工学部長の榎本博行先生の乾杯の音頭で懇親会のスタートです。

立食パーティーでは、学生からOB教員に対して「経験談」を求められるなど交流と親睦を深めました。



記念写真



【表紙3ページに関連写真】

友電会主催「第40回卒研室対抗ソフトボール大会」 26チームが参加、西村研合同が優勝

友電会主催の「第40回卒研室対抗ソフトボール大会」は、平成29年8月29(火)、30日(水)に母校・寝屋川キャンパスのグラウンドで26チーム約380人が参加して開催され、熱戦のすえ「西村研合同」(数理、基礎理工)が優勝しました。今回は40回という節目の大会で、両日ともに気温30度を超える猛暑の中で、文字通りの熱戦が繰り広げました。参加した学生からは「有意義なソフトボール大会でした。学生時代の良い思い出になりました」といった声が聞かれました。

●開会式

「卒研室対抗ソフトボール大会」は、「真夏の恒例の行事」として学内外で定評があります。同大会は、友電会が「学生にとって思い出に残る有意義な行事を開催したい」との発想からスタート、今回で40回目という節目の回数を迎えました。

「開会式」は、29日午前9時30分から寝屋川キャンパスのエデュケーションセンター(J号館)東側の「円形広場」で、柴垣佳明(D33)友電会事務局長(母校教授)の司会で、26チー

ムの学生・教員が参加して開催されました。

冒頭、あいさつに立った第40回大会実行委員長の前川泰之先生(通信工学科)は「40回という節目を迎えた今回は26チーム380人が参加しての大会で、優勝カップを目指して熱戦を展開されんことを期待します」とあいさつし、「第40回 研究室対抗ソフトボール大会」の開会を宣言しました。

次いで、主催者の友電会を代表して水谷元也(E08)友電会副会長は「今日はかなり暑いので熱中症とケガには十分注意され、学生生活最後のイベント・ソフトボール大会を楽しんでください。これが、人生の中での大きな思い出になることを願っています」と述べました。

この後、前回の優勝チーム・早坂研(情報工学科)の代表から前川泰之大会実行委員長に優勝カップの返還があり、レプリカが贈呈されました。

会場には、「スコアボード」(写真)が展示され、同ボードを製作しました富岡明宏先生(電気電子工学科)から説明がありました。「ボール、スト

ライク、アウトの表示の他に、点数を表示できます。これらは、リモコンによって内容を変更できます。このボードによってソフトボール大会が充実すればと思っています」と語りました。

最後に柴垣友電会事務局長から、試合ルールや注意事項などについて説明があり、午前10時に「プレーボール」が宣言され、2日間にわたる全25試合の熱戦が展開されました。

●「熱戦」展開される

試合は、午前10時から寝屋川キャンパスのグラウンドで、A、B、C、Dの4つのコートで一齐にプレーボール。午前中から「晴れ」の中で試合が展開されました。好プレー、珍プレーが続出していました。

翌30日の2日目は、午前10時30分から準決勝戦と午後1時30分から決勝戦が行われました。

準決勝戦は田中(宏)研(電子機械工学科)と疋田研(電子機械工学科)、西村研合同(基礎理工学科)と早坂研(情報工学科)がそれぞれ対戦。疋田研が7対4で勝利、西村研合同が20

卒研室対抗ソフトボール大会



あいさつする
友電会の福田武会長



あいさつする大会委員
長の前川泰之先生



あいさつする友電会
水谷元也友電会副会長



司会の柴垣佳明
友電会事務局長



今大会から導入された
「スコアボード」



優勝チームの「西村研合同」に
前川委員長から優勝カップを贈呈



準優勝した「疋田研」に
カップを贈呈



3位の「田中(宏)研」と
「早坂研」に盾を贈呈

対5で大勝しました。

決勝戦は、疋田研と西村研合同の対戦となりました。熱戦が展開され、西村研合同が11対9という僅差で「優勝」しました。

総括すると、疋田研が1回戦で28点(相手は1点)、3回戦で29点(相手は0点)という大量得点を獲得、西村研合同も1回戦で20点(相手は0点)、準決勝でも20点(相手は5点)をもぎ取りました。

その他は、0点から16点以内で、2

対1や3対2などの試合も多く見られ、総じて「熱戦」という試合が多く見られました。そして「好プレー」、「珍プレー」も多々見られました。

●閉会式

「閉会式」は午後3時50分からグラウンドで準決勝に出場した4チーム約60名が参加して行われました。

川崎孝則友電会事務局の司会で進められ、前川泰之大会実行委員長は



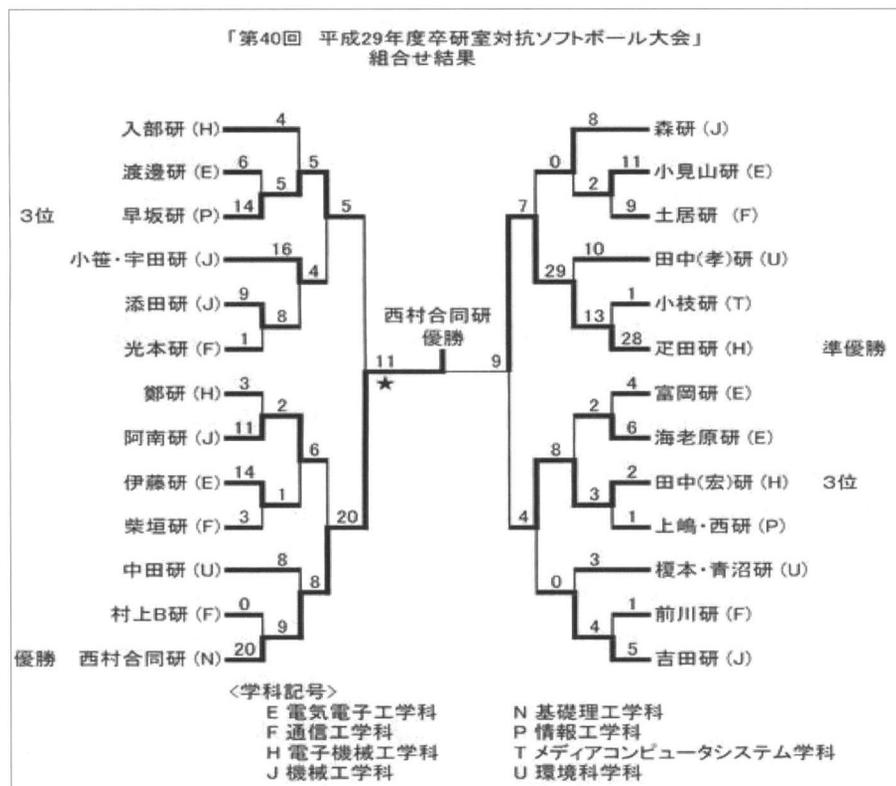
前回の優勝チーム「早坂研」から前川泰之
大会実行委員長に優勝カップの返還

「熱中症やケガもなく、無事終わることができました。そして大会は大変有意義なものとなりました。参加した学生にとっては本当に良い思い出になったのではないのでしょうか」とあいさつ。

続いて友電会の福田武(E02)会長は「各試合ともに熱戦が展開されました。参加した皆さん、本当にご苦労様でした。学生時代の良き1ページになれば、大変意義のあるイベントと思っています」と述べました。

この後、前川泰之大会実行委員長と福田友電会会長から西村研合同に優勝カップ、疋田研に準優勝カップ、3位の田中(宏)研と早坂研に楯が手渡されました。

4チームのカップや楯を中心に、集合記念写真を撮影し、「第40回(平成29年度)卒研室対抗ソフトボール大会」は終了しました。





議長の荒木秋男(106)
東京支部監事



司会の坂本充(H21)
東京支部事務局次長

【表紙3ページに関連写真】

首都・東京に待望の

「友電会東京支部」が誕生

首都・東京に待望の「友電会支部」が誕生しました。「東京支部」の設立を平成29年12月9日(土)正午から東京都千代田区平河町の「都市センターホテル」1階のレストラン・ラウンジ「アイリス」で東京都在住・勤務はもとより近県の会友、母校理事長・学長や友電会本部から会長など51名が出席して祝福しました。なお、懇親会に先立って「友電会東京支部設立記念パネル討論会」が行われ、「学園と同窓会の理想の姿」をテーマに活発な意見交換が展開されました。

●新設の「東京支部」とは

新設の「東京支部」は、首都・東京の利便性を生かし、在京・都内在勤の同窓、東京を通過点とする同窓に対し、「道の駅」ならぬ「同窓の駅」を標榜しています。また、これまでのような総会重視の活動から脱皮し、2カ月に1回、研修会等の集会を定期的で開催します。

主な活動は

- ①友電会定款や慣例を遵守した事業、同窓の情報交換

- ②同窓諸氏の活動発表
- ③大阪電気通信大学在学生の実践活動の支援
- ④同窓諸氏の功績を讃え、定年を迎えられる同窓諸氏への称賛
- ⑤地域貢献
- ⑥親睦会、講演会の開催
- ⑦その他、目的達成に必要な事業であり、2カ月に1回(土曜日)、研修会と役員・懇親会を開催するとしています。

●「友電会東京支部」設立総会

友電会「東京支部設立総会」は坂本充(H21)東京支部事務局次長の司会で開始しました。

まず初めに、東京支部設立準備委員会の畝本正一(E07)委員長が「ただいまより『大阪電気通信大学友電会東京支部』の『設立総会』を開催します」と「開会」を宣言しました。

続いて「議長」選出に移り、立候補者がいなかったことから東京支部設立委員会があらかじめ選んでいた荒木秋男(106)東京支部監事が議長に就任しました。

荒木議長は「受付で大阪電気通信

大学友電会東京支部設立総会の資料が配布されています。すでに一読されていると思われる、意義がなければ拍手で承認をお願いします」と述べ、全会一致で了承されました。

なお、「友電会東京支部」の初代役員は次の通り。

支部長 観野福太郎(E04)・副支部長 中野正三(E05)・副支部長兼事務局次長 畝本正一(E07)・副支部長兼事務局次長 新義孝(E11)・事務局次長 総務書記 正木康久(K20)・事務局次長 副総務書記 坂本充(H21)・幹事広報 坂手宏行(J21)・同総務 鈴木顕広(E04)・同 岩本吉男(F05)・同 森脇憲治(K24)・同企画 足立秀之(J25)・同企画 石橋明美(I25)・監事 荒木秋男(106)・同 蕭焜森(K23)・顧問 宮崎孝(E01)・同 深野隆司(109)

●友電会東京支部設立記念

「パネル討論会」

「パネル討論会」は「学園と同窓会の理想の姿」をテーマに活発な意見交換をしました。

パネラーとして母校の成瀬淳理事



モデレーターの
観野福太郎(E04)東京支部長
⑥「パネル討論会」の光景



パネラーの福田武(E02)友電会会長

長、母校の大石利光学長、友電会の福田武(E02)会長、モデレーターとして東京支部の観野福太郎支部長がステージの上に。

まず、観野氏が「今回は、東京支部の設立を記念して、『学園と同窓会の理想の姿』をテーマとして意見交換を行いたい。これらの意見などを通じて、母校はもとより友電会の発展に結びつけていきたいと思えます」とあいさつ。

最初は経歴などについて各自があいさつした後、成瀬理事長が「学園の理想の姿の達成に向けて」と題して、母校の改革推進の状況について説明報告しました。

主な内容は、

- ①「学園が生き延びるための強固な体制作り」として「今までのやり方を変えねばならない」→4月から第1次5カ年計画を推進。
- ②「機能体としての学園」→住み心地の良さを求める共同体的活動ではなく「明確な目的があるか」など5つのチェックポイントを設けて推進する。
- ③「学園の意思決定と情報共有のためのしくみ」→理事会など各会議は目的をもって開催する。



パネラーの大石利光学長

④「専門部会」など「学園の運営基盤強化・改革のためのプロジェクト」を設けて推し進めていく。

⑤「学園の機能体力強化への継続的な活動」を行っていく。としています。

理事長は、「第1次5カ年計画はスタートしたばかりですが、若干の改善兆候を感じます。これからが本番であり、全員一丸となって進めていきます」と力を込めて語りました。

次に「同窓会組織との連携に関する課題」として、まず同窓会の目的は

- ①会員相互の親睦を図ること
 - ②母校と密に連携してその発展にあわせて寄与すること
- の2つに集約されます。

「会員相互の親睦を図ること」は、同窓会の共同体的な活動分野であり、「母校と密に連携してその発展に寄与すること」については、これまで理事、評議員として学校法人の決議に加わっています。また、就職支援やクラブ活動の支援など広範囲にわたっての活動が行われています。

学園としての今後は、4月にスタートした「第1次5カ年計画」を



パネラーの成瀬淳理事長

推し進めるとともに、来年度から3つの新学科が発足、大学はもとより高校の入試制度の改革など、「連続的改革」の体質を醸成していくとしています。

この後、これらの説明報告に関して、出席者からの意見などがモデレーターから求められ、「情報」についての提案が多く聞かれました。

また、大石学長から学科の増設や授業等に関する説明報告がありました。

友電会の福田会長からは、「現在、会の一般社団法人化を進めています。これは母校の発展にもつながることと考えています」などの報告がありました。

●東京支部設立総会「記念懇親会」

「記念懇親会」は同じく坂本事務局次長の司会でスタートしました。

「乾杯」は、第1期生の宮崎孝(E01)東京支部顧問の発声で出席者全員が起立して行われました。懇親パーティーの開宴です。

歓談中も各所で話し合う姿が見られ、和んだ雰囲気の中での懇親会となりました。

会話の内容は母校や友電会の発展に関することが多く、学生時代や近況報告も聞かれました。

このあと、叡本東京支部副支部長から「東京支部設立」の経緯などについて報告がありました。

続いて、母校の寺西正光法人事務局長、元友電会会長の中山修(F06)友電会顧問、岡本清孝(H11)友電会副会長、関東総支部の深野隆司(I09)総支部長など多くの出席者から、お祝いの言葉とともに近況報告などがありました。中野正三(E05)東京支部副支部長から返礼の言葉が述べられました。

最後に紅一点の石橋明美(I25)東京支部幹事(企画)が今回の設立総会について報告するとともに、「東京支部の活性化を図るため、精いっぱい努力します」と語り、出席者から大きな拍手が沸き起こっていました。

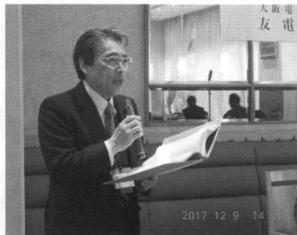
時間も押し迫り、母校の「大学歌」を大声で斉唱したあと、全員による「祝」の拍手で、来年度の再会を約し閉会しました。



大きな声で母校の「大学歌」を斉唱



「乾杯」の音頭をとる宮崎孝(E01)東京支部顧問



「東京支部」設立について報告する叡本正一(E07)東京支部副支部長



あいさつする深野隆司(I09)関東総支部長



あいさつする母校の寺西正光法人事務局長



報告する紅一点の石橋明美(I25)東京支部幹事



返礼を述べる中野正三(E05)東京支部副支部長

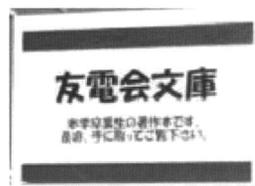
出席者全員による記念撮影の後、2次会に繰り出すなど散会しました。



母校の図書館に 3冊の書籍を寄贈

会員の櫻木親房(E02)氏から「母校の図書館に3冊の書籍を寄贈」とのメールをいただきました。「PICマイコンとネットワーク」(オーム社)、「EXCELを用いた計測制御入門」(電気書院)、「電気・電子実習3」(実教出版、これは文科省認定の高校教科書です)の3冊です。

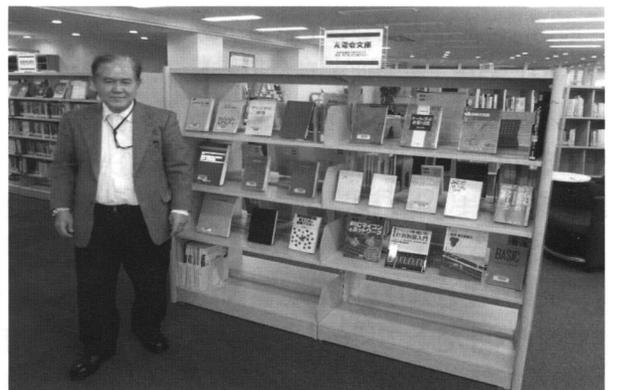
いずれも著者は櫻木嘉典(E32)氏です。但し「電気電子実習3」は共著です。この他に実教出版の教科書で「プログラミング技術」、「ハードウェア技術」の2冊(共著)があります。図書館にはまだ展示スペース



があると云う事ですので、後日、この2冊も寄贈予定です。

これまでのいきさつは、この3冊は5年ほど前から息子の書籍として自分の部屋に置いていましたが、私も先が短いと思い、身辺を整理しています。断捨離しなければなりません。そう言う事情があり、この度、大学図書館に寄贈する事に致しました。

櫻木さん、書籍の寄贈、ありがとうございました。母校・図書館でも



櫻木親房(E02)氏

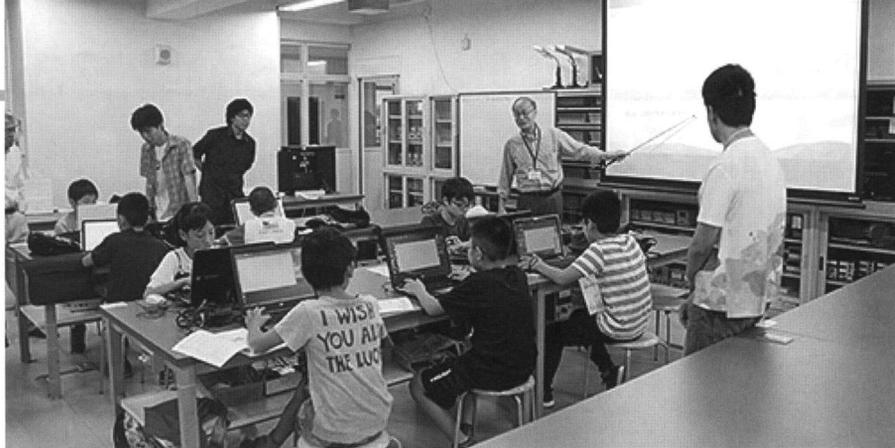
喜んでおり、「有効に活用させていただきます」とのコメントをいただいています。

なお、母校・図書館には「友電会文庫」が設けられています。寄贈していただいた本は「友電会文庫」に所蔵しています。母校を訪れたさいには、お立ち寄りください。

友電会主催の2017年度「寝屋川ロボット教室」開講

平成29年5月21日(日)、大阪電気通信大学友電会(同窓会組織)主催の2017年度「寝屋川ロボット教室」が寝屋川キャンパスで開講し、約70人の小中学生が参加しました。

この教室では、今後毎月第3日曜日、全10回の講座を通じて小中学生が楽しみながらモノづくりやプログラミングを学びます。本学のOBをは



じめ地域の企業やボランティアの方々などの協力を得て毎年開催しており、在学学生もアシスタントとして子供たちのサポートを行っています。

講座は、「モノづくり」の初級・中級、「プログラミング」の初級・中級コースに分かれており、今年度初参加となる小学生たちは、「モノづくり初級」にて、OBや学生スタッフのアドバイスを受けながら、初めての半田付けやドリルによる穴あけなどに挑み、電子オルゴールの製作を楽

しました。

本学OBの大野一廣さんは、「わからないことはどんどん質問してください。1年たつと、半田付けや工具を使うことが上手になります」と述べ、本学OBで友電会事務局長を務める情報通信工学部通信工学科の柴垣佳明教授は、「大きくなったら立派な技術者になるつもりで楽しんでもらえると思います」と伝えました。

(記事・写真ともに「母校ホームページ」・2017.05.22)掲載より)

友電会京都支部が小学生向け「楽しい電気教室」を京都・亀岡市で開催

友電会京都支部(段安義彦(F06)支部長)は7月22日(土)午前10時から、京都・亀岡市の「ギャラリーかめおか」1階の研修室で、講師に元母校教員・枚方テクノカレッジ主宰の竹本信之氏(E03)を招き、小学生向けの「楽しい電気教室・ノーベル賞受賞できるように頑張っ！」を開催しました。7名の小学生とその保護者の15名が参加、約2時間にわたって『電気』について学びました。

まず、小型スピーカーがマイクになることを知ってもらい、自分の声が1秒間に何回振動しているかをシンクロスコープに表示、また、声が電気に変わる事を『楽しく』理解してもらいました。

通信の原点である「糸電話」。電線を使った「糸電話」は初めての事。小型スピーカー2個、電線と紙コップを使い、電源なしで「もしもし」「はいはい」と通話できる事に、子供たちはもとより保護者も童心に返り楽しんでいました。

その後、磁石と電気の関係を知りやすく説明し、なぜ「電線糸電話」から声が聞こえたのか、手回し発電機を回したらなぜ



LEDが点灯したのか、などについて解説がありました。

また、教材を使いながら、「AND」回路の説明をするなかで、「人と人がつながると、モーターが回り、電灯が点灯する」など、小学生が理解できるように説明していました。

同教室は友電会京都支部の活動の一環として開かれたもので、「電気とは？」を小学生が理解できるように楽しく、面白く、笑いのある教室となりました。

「日本の将来、みんなノーベル賞受賞できるように頑張っ！」と最後の挨拶に、段安義彦支部長のお話の後、解散となりました。



■ 都倉信樹元学長が「平成29年秋の叙勲」受章



平成29年秋の叙勲において、都倉信樹元学長が瑞宝中綬章を受章しました。

内閣府では、春秋叙勲として年2回、国家又は公共に対し功労のある人物、社会の各分野における優れた行いのある人物などを表彰していま

す。瑞宝中綬章は、公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた人物に贈られる勲章です。

都倉元学長は、第9代学長として2008年4月に就任し、2012年3月までの4年の間、本学の発展に尽力されました。

(記事・写真ともに母校ホームページ「2017. 11. 05」掲載より)

■ 「たけびし」の社長に卒業生・小倉氏が就任



各種FA機器、産業機械、情報システムなどを手掛ける商社で東証1部上場の「株式会社たけびし」(本社:京都市右京区西京極豆田町29番地)の新社長に母校卒業の小倉勇(おぐら いさむ)(K18)氏が就任しまし

た。

小倉氏は昭和57年(1982年)に工学部応用電子工学科を卒業、たけびしに入社。平成17年10月名古屋支店長、平成23年4月経営戦略室副室長、平成24年6月取締役執行役員・経営戦略室長、平成28年6月取締役常務執行役員・経営戦略室長を経ています。滋賀県出身で57歳。今年6月28日に就任予定。藤原宏之社長は会長に就任します。

「たけびし」は、大正15年4月24

日(1926年)に創業、資本金25億5400万円(平成28年3月31日)。売り上げは(連結)712億67百万円(2016年度)、総人員(連結)644人。

今回の役員異動について「たけびし」では、「業績の安定向上、事業基盤の強化が進む中、若返りを図り、新たな経営体制の下で一層の企業価値向上を目指し、飛躍を期すものです」としています。

小倉氏の知人の話では、小倉氏は学生時代は「準硬式野球部」に在籍し、活躍していました。卒研は「清水研」です。

■ 「アイコム」の社長に卒業生・播磨正隆氏(F13)



1977年(昭和52年)に母校を卒業された、播磨正隆(はりま まさた

か)氏(F13: 山口研究室)が、平成29年8月1日にアイコム株式会社 代表取締役社長に就任します。

同社は、世界でトップクラスのアマチュア無線・業務無線の製造・販売メーカーであり、現在ではWi-Fi環境を含めた総合通信機器・総合システム企業の製造・販売を行っています。

播磨氏は、昭和52年4月に株式会

社井上電機製作所(現アイコム 株式会社)に入社し、これまでにエンジニアとしてご活躍され、多数の特許を出願しています。

【播磨正隆氏のご経歴】

播磨正隆氏(はりま・まさたか) 大阪電気通信大学 通信工学科卒。

1977年 井上電機製作所(現アイコム)入社。2017年6月から取締役ネット機器事業部部長。62歳。大阪府出身。

■ 母校元教授・谷口一雄氏(E02)が「2017年度日本分析化学会 学会功労賞」受賞



この賞は、公益社団法人日本分析化学会が表彰するもので、日本分析化学会及び分析化学の発展に多大な貢献をなした者で、30年以上本会の会員であり、満55歳以上の人物に送られる賞です。谷口元教授は、母校においてX線分光学の教育・研究に

従事しながら、分析化学会の発展に、特に分析機器の開発と普及活動の観点から貢献し、その功績を評価されました。

(記事は母校ホームページ「2017. 08. 25」掲載より)



首都「東京」に待望の 「友電会支部」 誕生

「パネルディスカッション」
の光景



友電会主催 「第40回卒研室対抗 ソフトボール大会」

優勝・準優勝・
3位(2チーム)の4チーム



①優勝した「西村合同研」



③3位の「田中(宏)研」と「早坂研」

②準優勝の「足田研」



なわてん GRAND PRIX



2017年度
なわてん

- ① 展示会場で作品を品評する福田武(E02)
友電会会長ら友電会役員
② 「友電会賞」に入選した3組と福田会長



平成30年度友電会通常総会・合同懇親会

日程：平成30年6月23日(土) 会場：母校・寝屋川キャンパス

友電会では、「平成30年度通常総会・同窓会3団体合同懇親会」を平成30年6月23日(土)に開催します。会場は、母校・寝屋川キャンパスを予定しています。

平成30年度は、友電会が「一般社団法人」を目指しており、これにちなんでテーマを「新たなスタート」とし、記念講演会、懇親会を催します。懇

親会は母校の教職員のOB会「緑樹(みどり)会」、「クラブ同窓会」と合同で開くため、退職されている恩師など教職員、学生時代にクラブ活動をしていた多くの会員が参加します。会員諸氏におかれましては、会友をお誘いのうえ、ご家族連れでご出席下さいますようお願いいたします。学生の皆さんの出席(会費無料)も大歓迎します。

- ・テーマ 「新たなスタート」
- ・日 時 平成30年6月23日(土)
- ・会 場 母校・寝屋川キャンパス
- ・会 費 2,000円

(同伴者、学生、母校関係者、来賓は無料)

■記念講演会

総会時に「記念講演会」を予定しています。「出席者が聞きたい」と思われる内容を検討中しています。お楽しみに。

- ◆詳細につきましては、5月上旬発行予定の会誌「ゆうでんかい」129号、友電会ホームページをご覧ください。